Business Survey Index　　2007年第2四半期(4-6月)　　第74回

企業経営者意識調査

1 2007年第2四半期の概要　Ｐ１

2 調査結果

■経営状況
①業況感　Ｐ３
②売上高（生産）高　Ｐ４
③経常利益　Ｐ５
④資金繰り　Ｐ６
⑤残業時間　Ｐ７
⑥１人当たりの賃金　Ｐ８

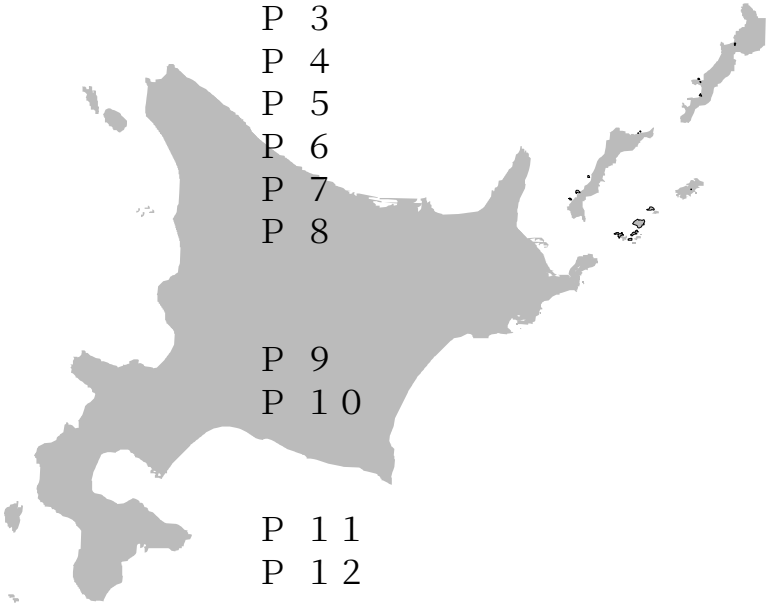
■雇用状況
①雇用者総数　Ｐ９
②雇用者の過不足感　Ｐ１０

■在庫・価格水準
①製造業　Ｐ１１
②卸売・小売業　Ｐ１２

■設備投資　Ｐ１３
■地域別にみる各産業の動向　Ｐ１５
■道内の景況感　Ｐ２１
■企業経営者の声　Ｐ２２
■調査結果の長期推移　Ｐ２６

3 特別調査～女性従業員の能力発揮促進　Ｐ２７

4 調査方法　Ｐ３０



編集・発行：北海道企画振興部地域振興・計画局地域づくり支援室参事（経済調査）　平成19年7月27日発行
TEL　011-231-4111（内線23-617）　http://www.pref.hokkaido.lg.jp/skk/kzc/index.htm

1　２００７年第２四半期の概要

■企業の業況感（前年同期比）

〔今期〕
１９年第２四半期（４－６月）の業況感のＢＳＩは、マイナス２４で、前期のマイナス２４と同様となった。

（産業別）
【建設業】住宅建築工事や管工事、電気通信設備工事などの一部で受注の増加が見られたものの、公共事業や民間設備投資の減少で経営環境は依然と厳しく、ほぼ横ばいとなった。（△３５→△３６）

【製造業】一般機械や電気機械、肥料、食料品などの一部は好調であったものの、原油価格や原材料費の高騰などでプラスチック製品や合成樹脂製造、木材・木製品、水産加工、印刷などは不調で、ほぼ横ばいとなった。（△１６→△１８）

【卸売・小売業】自動車や石油製品、衣料品などの販売が不振であったものの、量販店や機械器具、一部の建築材料の販売などは好調で、マイナス幅が縮小した。（△２２→△１７）

【運輸・通信業】運輸業は燃料費の高騰や価格競争に伴う運賃の低下、乗客の減少などで経営状況は厳しいものの、一部の貨物運送で鉄鋼などの貨物量が増加し、倉庫やフェリーなどの売上げが好調で、マイナス幅が大幅に縮小した。（△３８→△２４）

【サービス業】ソフトウェア・情報サービス業が好調であるものの、道南などでは観光客の減少や競争激化でホテル・旅館業が低迷し、また、自動車整備業、測量業などが売上の減少で、マイナス幅が拡大した。（△１５→△２６）

（地域別）
【道南】住宅建設の受注が伸びた一部の建設業やフェリー、倉庫などの運輸業が好調であったものの、イカの漁獲量減少による漁労機械や水産加工などの製造業の生産が減少し、また、観光客の減少などによるホテル・旅館の不振で、マイナス幅が拡大した。（△２３→△３４）

【道央】サービス業は地方都市のホテルでビジネス客の減少やレストラン、婚礼、宴会の売上が減少したものの、卸売・小売業は食料品販売やホームセンターなどの売上が増加し、運輸業では取扱量の増加などによる一部の倉庫が好調で、マイナス幅が縮小した。（△１８→△１４）

【道北】建設業と運輸・通信業でやや上昇したものの、製造業では木材・木製品や電子部品の製造が減少、卸売・小売業では食料品や石油製品の販売が減少、サービス業ではホテル・旅館の宿泊客の減少や自動車整備業の売上不振で、マイナス幅が拡大した。（△２５→△４０）

【オホーツク】建設業は公共事業等の減少でさらに経営の厳しさが増しているものの、製造業では肥料や電子部品などの生産が伸びており、運輸業では一般貨物の取扱量がやや増加したことなどから、ほぼ横ばい。（△３４→△３３）

【十勝】卸売・小売業でやや下降したが、建設業は厳しい環境ながら一部の民間住宅建設で受注増があり、製造業では菓子や農産品などの食料品製造の増加、サービス業ではゴルフ場の利用客の増加などで、マイナス幅が縮小した。（△３２→△２３）

【釧路・根室】建設業は公共事業の減少で下降したもの、製造業ではフィッシュミールや造船、産業用機械などの生産が増加しており、運輸業ではマスの取扱量の増加で、マイナス幅が縮小した。（△３１→△２６）

〔来期〕
１９年第３四半期（７－９月)の業況感のＢＳＩの見通しは、マイナス２０で、今期に比べ４ポイント上昇の見込み。

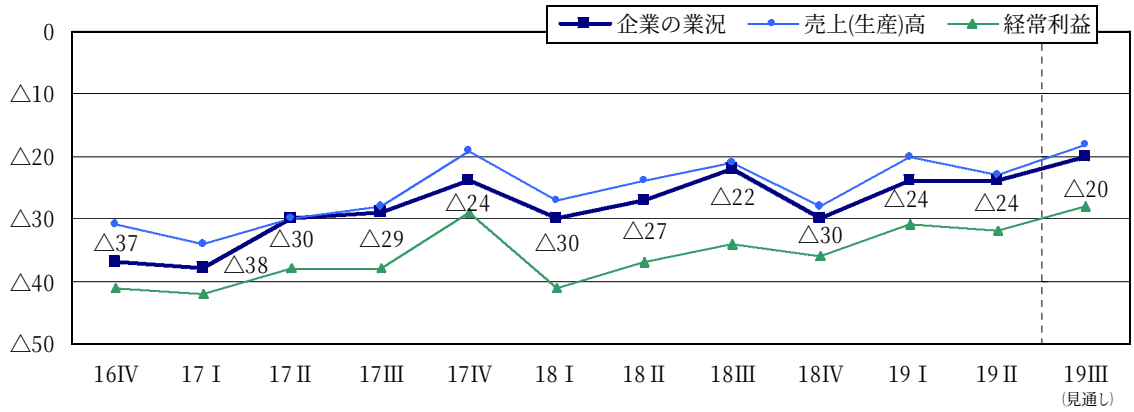
（産業別）
運輸・通信業では、下降が見込まれているものの、卸売・小売業は横ばいで、建設業は一部で工事受注の増加、製造業は自動車部品や食品加工の生産増加、サービス業では一部で旅館の宿泊客の増加などで、上昇が見込まれている。

（地域別）
十勝地域以外の５地域で上昇が見込まれている。

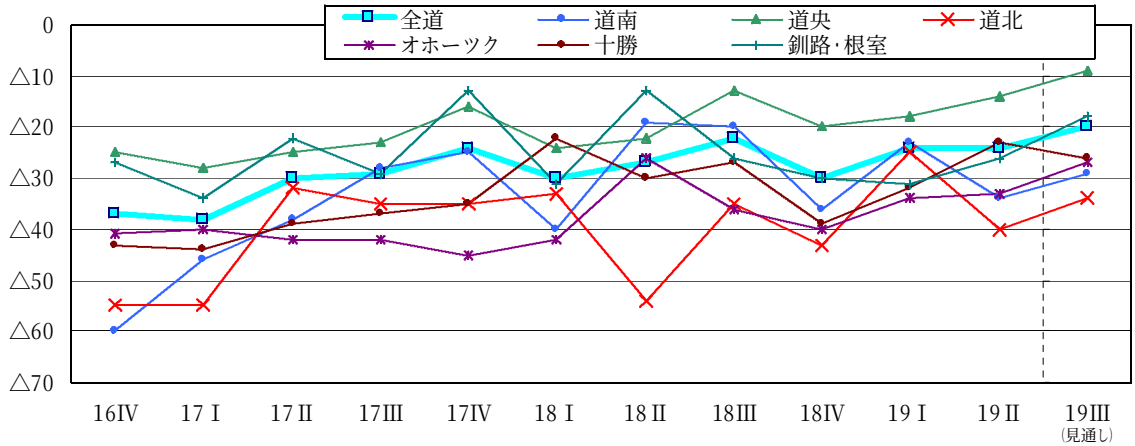
業況感（産業･地域別）

区　分		19年Ⅰ期(1-3月)実績	19年Ⅱ期(4-6月)実績		19年Ⅲ期(7-9月)見通し	
		BSI	BSI	変化幅	BSI	変化幅
総　計		△ 24	△ 24	0	△ 20	4
産業	建設業	△ 35	△ 36	△ 1	△ 31	5
	製造業	△ 16	△ 18	△ 2	△ 7	11
	卸売･小売業	△ 22	△ 17	5	△ 15	2
	運輸･通信業	△ 38	△ 24	14	△ 30	△ 6
	サービス業	△ 15	△ 26	△ 11	△ 21	5
地域	道南	△ 23	△ 34	△ 11	△ 29	5
	道央	△ 18	△ 14	4	△ 9	5
	道北	△ 25	△ 40	△ 15	△ 34	6
	オホーツク	△ 34	△ 33	1	△ 27	6
	十勝	△ 32	△ 23	9	△ 26	△ 3
	釧路･根室	△ 31	△ 26	5	△ 18	8

業況感、売上(生産)高、経常利益ＢＳＩの推移



業況感ＢＳＩの推移（地域別）



2 調査結果

■ 経営状況（前年同期比）

①業況感

・今期のＢＳＩは△２４（前期比±０）

産業別にみると、卸売･小売業、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

地域別にみると、道央、十勝、釧路･根室でマイナス幅が縮小、道南、道北ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△２０（今期比＋４）

図1-(1) 業況感

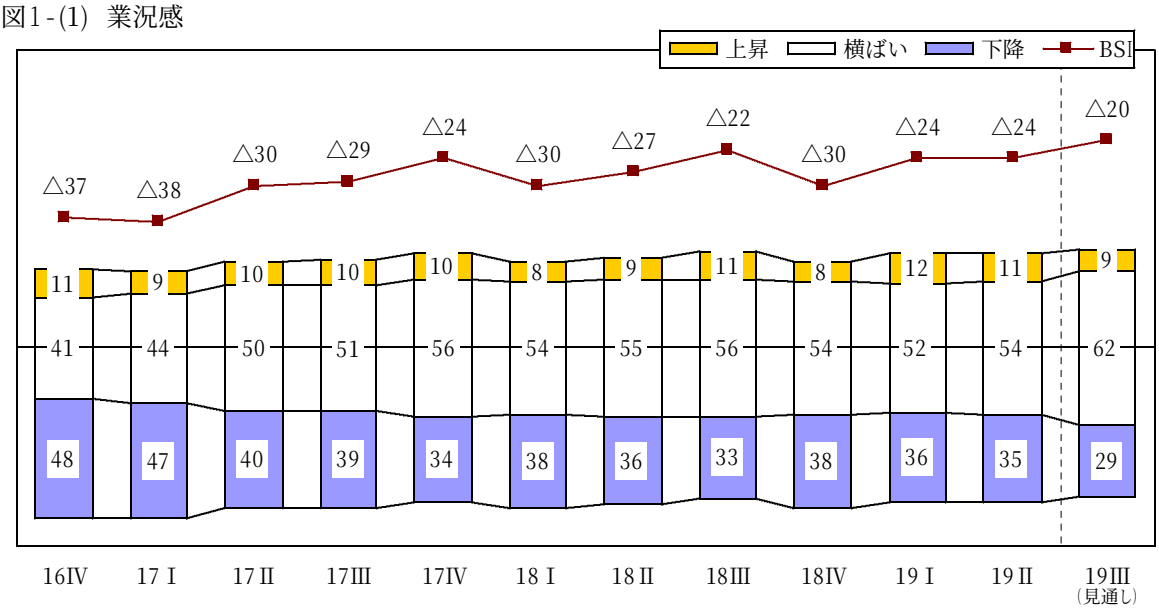


表1-(1) 業況感（産業･資本金･地域別）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	19年Ⅲ期(7-9月)見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計		△ 24	11	54	35	△ 24	0	9	62	29	△ 20	4
産業	建設業	△ 35	7	50	43	△ 36	△ 1	7	55	38	△ 31	5
	製造業	△ 16	14	54	32	△ 18	△ 2	13	67	20	△ 7	11
	卸売･小売業	△ 22	14	55	31	△ 17	5	12	61	27	△ 15	2
	運輸･通信業	△ 38	9	58	33	△ 24	14	4	62	34	△ 30	△ 6
	サービス業	△ 15	8	58	34	△ 26	△ 11	8	63	29	△ 21	5
資本金	5千万円未満	△ 27	10	53	37	△ 27	0	8	61	31	△ 23	4
	5千万以上～1億円未満	△ 30	8	53	39	△ 31	△ 1	8	58	34	△ 26	5
	1億円以上	△ 13	15	59	26	△ 11	2	13	67	20	△ 7	4
地域	道南	△ 23	8	50	42	△ 34	△ 11	6	59	35	△ 29	5
	道央	△ 18	13	60	27	△ 14	4	13	65	22	△ 9	5
	道北	△ 25	5	50	45	△ 40	△ 15	6	54	40	△ 34	6
	オホーツク	△ 34	12	43	45	△ 33	1	8	57	35	△ 27	6
	十勝	△ 32	12	53	35	△ 23	9	9	56	35	△ 26	△ 3
	釧路･根室	△ 31	10	54	36	△ 26	5	6	70	24	△ 18	8

注）業況の判断と見通しは、それぞれ前年同期と比べたものである。（以下、同）

②売上（生産）高

・今期のＢＳＩは△２３（前期比△３）

産業別にみると、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、卸売･小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。
地域別にみると、オホーツクでマイナス幅が縮小、道南、道北ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△１８（今期比＋５）

図1-(2) 売上（生産）高

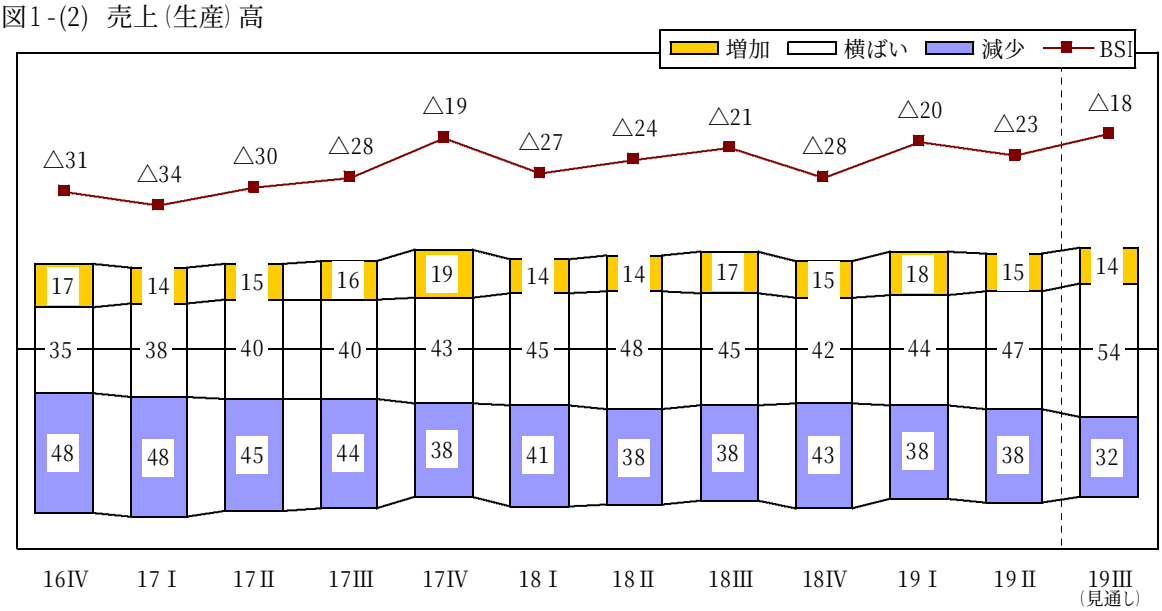


表1-(2) 売上（生産）高（産業･資本金･地域別）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 20	15	47	38	△ 23	△ 3	14	54	32	△ 18	5
産業	建設業	△ 36	12	38	50	△ 38	△ 2	12	44	44	△ 32	6
	製造業	△ 10	22	47	31	△ 9	1	18	58	24	△ 6	3
	卸売･小売業	△ 16	16	48	36	△ 20	△ 4	14	54	32	△ 18	2
	運輸･通信業	△ 26	15	49	36	△ 21	5	13	54	33	△ 20	1
	サービス業	△ 17	8	54	38	△ 30	△ 13	10	59	31	△ 21	9
資本金	5千万円未満	△ 27	13	47	40	△ 27	0	11	53	36	△ 25	2
	5千万以上～1億円未満	△ 19	14	44	42	△ 28	△ 9	14	53	33	△ 19	9
	1億円以上	△ 5	21	49	30	△ 9	△ 4	20	55	25	△ 5	4
地域	道南	△ 26	10	42	48	△ 38	△ 12	7	59	34	△ 27	11
	道央	△ 11	19	51	30	△ 11	0	17	57	26	△ 9	2
	道北	△ 24	5	44	51	△ 46	△ 22	10	41	49	△ 39	7
	オホーツク	△ 37	19	35	46	△ 27	10	12	47	41	△ 29	△ 2
	十勝	△ 27	13	49	38	△ 25	2	14	50	36	△ 22	3
	釧路･根室	△ 24	15	48	37	△ 22	2	10	65	25	△ 15	7

③経常利益

・今期のＢＳＩは△３２（前期比△１）

産業別にみると、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、建設業、卸売･小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

地域別にみると、道央でマイナス幅が縮小、道南、道北、十勝ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△２８（今期比＋４）

図1-(3) 経常利益

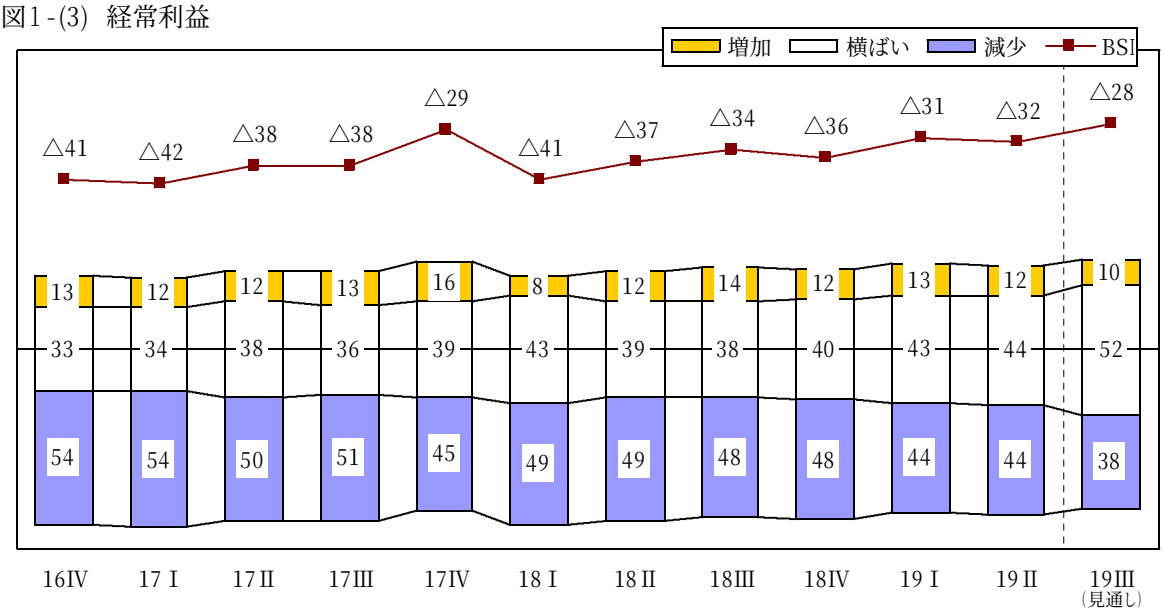


表1-(3) 経常利益(産業･資本金･地域別)

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 31	12	44	44	△ 32	△ 1	10	52	38	△ 28	4
産業	建設業	△ 48	7	34	59	△ 52	△ 4	5	43	52	△ 47	5
	製造業	△ 27	16	42	42	△ 26	1	11	55	34	△ 23	3
	卸売･小売業	△ 22	13	45	42	△ 29	△ 7	13	54	33	△ 20	9
	運輸･通信業	△ 44	12	47	41	△ 29	15	9	49	42	△ 33	△ 4
	サービス業	△ 19	12	49	39	△ 27	△ 8	11	58	31	△ 20	7
資本金	5千万円未満	△ 33	11	42	47	△ 36	△ 3	9	49	42	△ 33	3
	5千万以上～1億円未満	△ 35	7	47	46	△ 39	△ 4	5	56	39	△ 34	5
	1億円以上	△ 21	20	44	36	△ 16	5	17	56	27	△ 10	6
地域	道南	△ 34	7	42	51	△ 44	△ 10	6	53	41	△ 35	9
	道央	△ 28	15	49	36	△ 21	7	13	55	32	△ 19	2
	道北	△ 32	3	35	62	△ 59	△ 27	5	46	49	△ 44	15
	オホーツク	△ 36	12	40	48	△ 36	0	9	53	38	△ 29	7
	十勝	△ 25	17	38	45	△ 28	△ 3	13	42	45	△ 32	△ 4
	釧路･根室	△ 36	12	39	49	△ 37	△ 1	7	56	37	△ 30	7

④資金繰り

・今期のＢＳＩは△３（前期比＋１）

産業別にみると、建設業で困難から良好に転じ、製造業では良好から困難に転じた。
地域別にみると、道央で困難から良好に転じた。釧路･根室で良好から困難に転じたほか、道南では困難な傾向が拡大した。

・来期のＢＳＩは△７（今期比△４）

図1-(4) 資金繰り

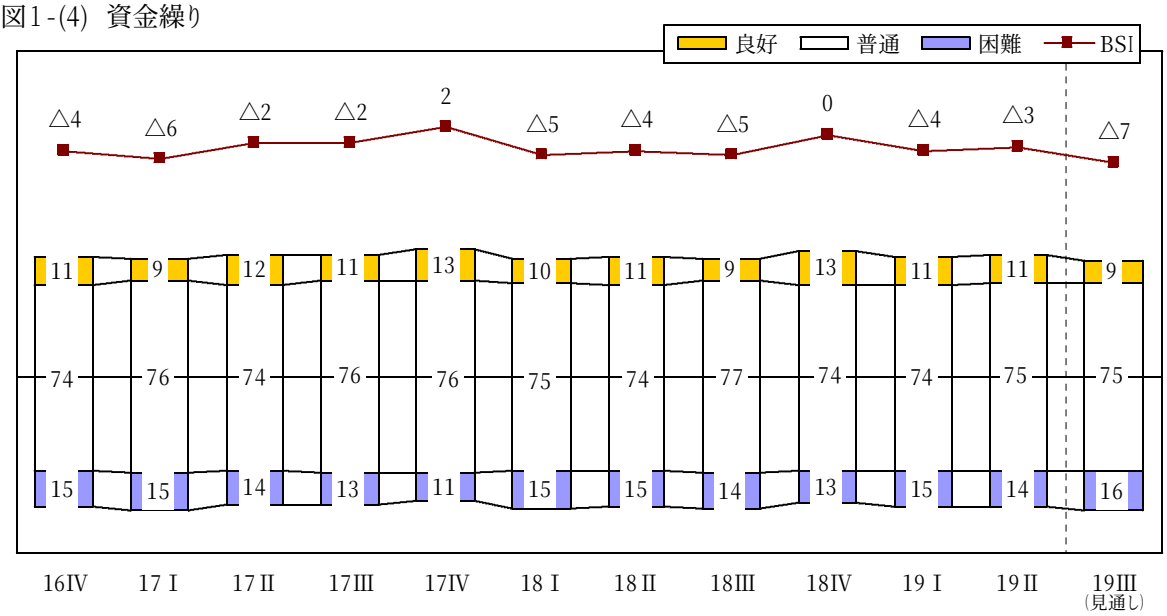


表1-(4) 資金繰り（産業･資本金･地域別）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績 良好	普通	困難	BSI	変化幅	19年Ⅲ期(7-9月)見通し 良好	普通	困難	BSI	変化幅
総計		△ 4	11	75	14	△ 3	1	9	75	16	△ 7	△ 4
産業	建設業	△ 10	14	75	11	3	13	14	71	15	△ 1	△ 4
	製造業	3	8	80	12	△ 4	△ 7	5	79	16	△ 11	△ 7
	卸売･小売業	1	14	74	12	2	1	11	76	13	△ 2	△ 4
	運輸･通信業	△ 5	8	78	14	△ 6	△ 1	9	78	13	△ 4	2
	サービス業	△ 12	9	68	23	△ 14	△ 2	8	71	21	△ 13	1
資本金	5千万円未満	△ 10	9	72	19	△ 10	0	8	71	21	△ 13	△ 3
	5千万以上～1億円未満	0	13	76	11	2	2	12	74	14	△ 2	△ 4
	1億円以上	6	13	82	5	8	2	10	85	5	5	△ 3
地域	道南	△ 4	7	70	23	△ 16	△ 12	4	73	23	△ 19	△ 3
	道央	△ 2	13	77	10	3	5	13	75	12	1	△ 2
	道北	△ 9	8	76	16	△ 8	1	8	74	18	△ 10	△ 2
	オホーツク	△ 13	14	60	26	△ 12	1	9	66	25	△ 16	△ 4
	十勝	△ 7	7	81	12	△ 5	2	7	80	13	△ 6	△ 1
	釧路･根室	3	10	78	12	△ 2	△ 5	5	78	17	△ 12	△ 10

⑤残業時間

・今期のＢＳＩは△１９（前期比△２）

産業別にみると、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、製造業、卸売･小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

地域別にみると、釧路･根室でマイナス幅が縮小、道南、道北、オホーツク、十勝ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△１５（今期比＋４）

図1-(5) 残業時間

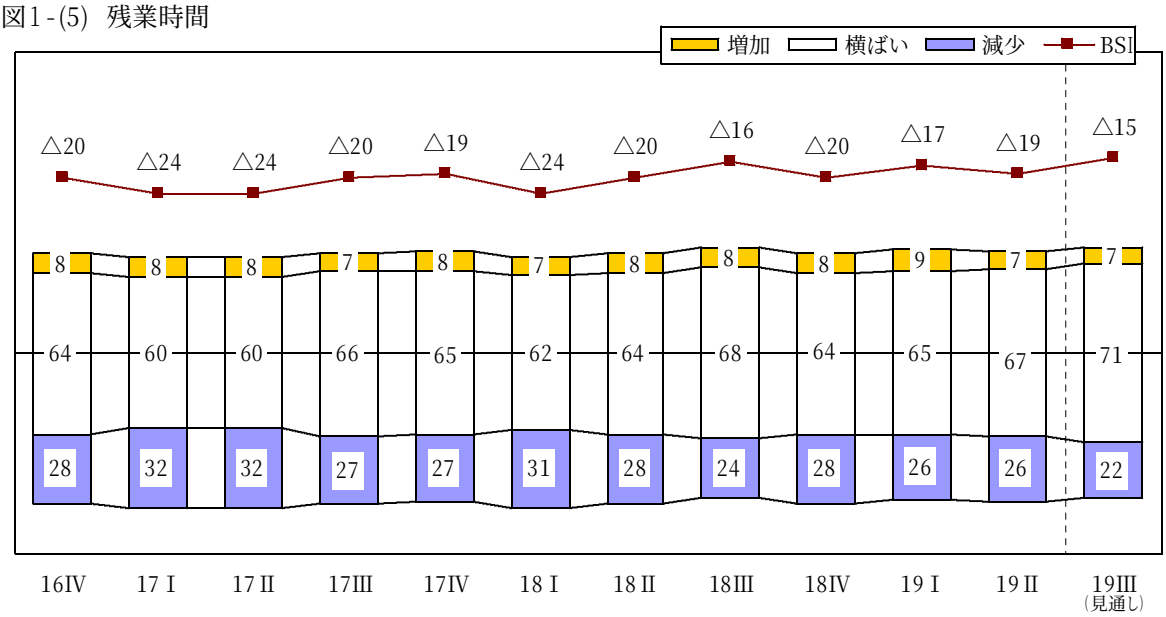


表1-(5) 残業時間（産業･資本金･地域別）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 17	7	67	26	△ 19	△ 2	7	71	22	△ 15	4
産業	建設業	△ 24	5	66	29	△ 24	0	5	68	27	△ 22	2
	製造業	△ 15	10	59	31	△ 21	△ 6	8	69	23	△ 15	6
	卸売･小売業	△ 13	6	72	22	△ 16	△ 3	4	75	21	△ 17	△ 1
	運輸･通信業	△ 33	2	69	29	△ 27	6	3	73	24	△ 21	6
	サービス業	△ 8	10	68	22	△ 12	△ 4	15	69	16	△ 1	11
資本金	5千万円未満	△ 24	7	62	31	△ 24	0	8	65	27	△ 19	5
	5千万以上～1億円未満	△ 11	4	71	25	△ 21	△ 10	3	79	18	△ 15	6
	1億円以上	△ 8	9	74	17	△ 8	0	9	76	15	△ 6	2
地域	道南	△ 19	4	66	30	△ 26	△ 7	6	67	27	△ 21	5
	道央	△ 16	7	69	24	△ 17	△ 1	7	74	19	△ 12	5
	道北	△ 22	6	61	33	△ 27	△ 5	9	58	33	△ 24	3
	オホーツク	△ 14	9	65	26	△ 17	△ 3	7	69	24	△ 17	0
	十勝	△ 12	6	69	25	△ 19	△ 7	4	79	17	△ 13	6
	釧路･根室	△ 17	10	66	24	△ 14	3	8	73	19	△ 11	3

⑥1人当たり賃金

・今期のＢＳＩは＋３（前期比＋９）

産業別にみると、サービス業で減少から増加に転じ、製造業、卸売･小売業でプラス幅が拡大したほか、建設業でもマイナス幅が縮小した。

地域別にみると、道央、オホーツク、十勝、釧路･根室で減少から増加に転じ、道北ではマイナス幅が縮小した。道南ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは±０（今期比△３）

図1-(6) 1人当たり賃金

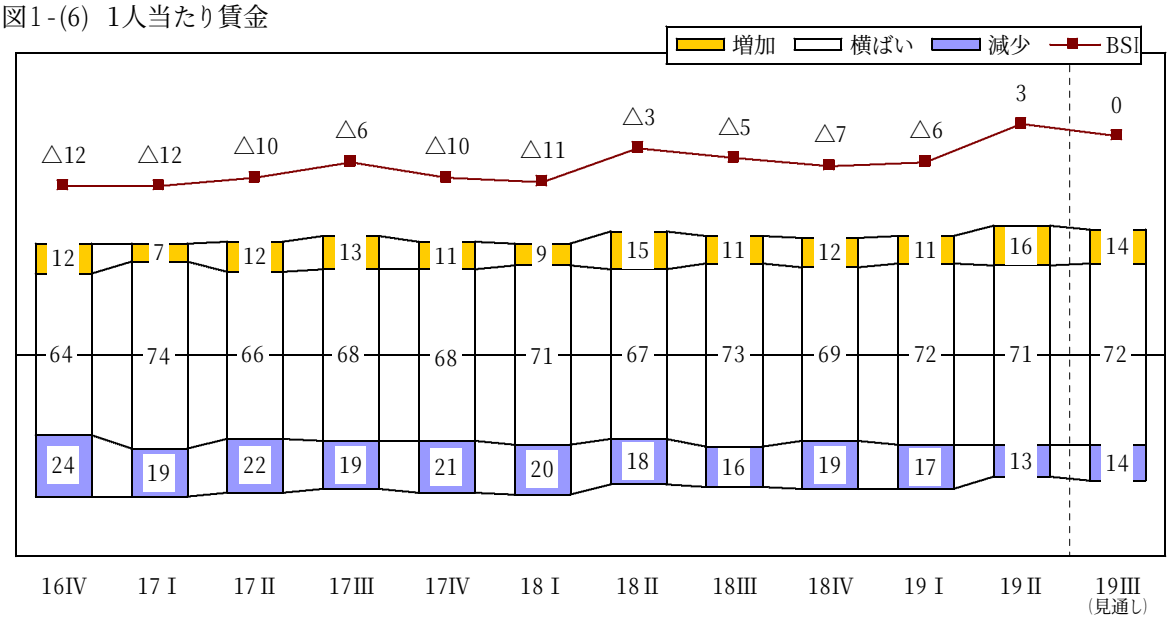


表1-(6) 1人当たり賃金（産業･資本金･地域別）

区分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 6	16	71	13	3	9	14	72	14	0	△ 3
産業	建設業	△ 22	11	69	20	△ 9	13	8	72	20	△ 12	△ 3
	製造業	4	26	64	10	16	12	23	68	9	14	△ 2
	卸売･小売業	1	15	77	8	7	6	12	78	10	2	△ 5
	運輸･通信業	△ 16	5	72	23	△ 18	△ 2	7	69	24	△ 17	1
	サービス業	△ 4	18	71	11	7	11	18	69	13	5	△ 2
資本金	5千万円未満	△ 8	15	69	16	△ 1	7	12	71	17	△ 5	△ 4
	5千万以上～1億円未満	△ 3	16	70	14	2	5	15	70	15	0	△ 2
	1億円以上	△ 3	21	72	7	14	17	20	75	5	15	1
地域	道南	△ 1	12	72	16	△ 4	△ 3	8	75	17	△ 9	△ 5
	道央	△ 5	19	70	11	8	13	16	73	11	5	△ 3
	道北	△ 14	9	72	19	△ 10	4	10	69	21	△ 11	△ 1
	オホーツク	△ 1	20	66	14	6	7	19	63	18	1	△ 5
	十勝	△ 10	14	74	12	2	12	15	70	15	0	△ 2
	釧路･根室	△ 7	19	67	14	5	12	14	72	14	0	△ 5

■　雇用状況（前年同期比）

①雇用者総数

・今期のＢＳＩは△９（前期比＋４）

産業別にみると、製造業で減少から増加に転じ、卸売･小売業ではマイナス幅が縮小した。サービス業ではマイナス幅が拡大した。
地域別にみると、道央、オホーツク、十勝でマイナス幅が縮小、釧路･根室ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△７（今期比＋２）

図２－(1)　雇用者総数

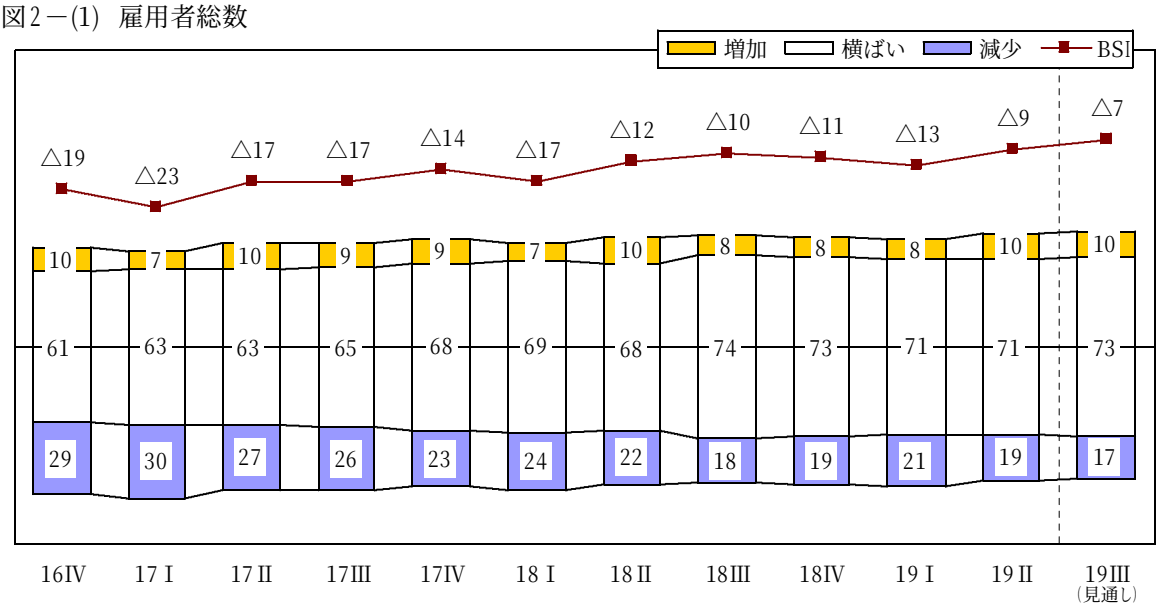


表2-(1)　雇用者総数（産業･資本金･地域別）

区　分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計		△ 13	10	71	19	△ 9	4	10	73	17	△ 7	2
産業	建設業	△ 22	8	64	28	△ 20	2	9	66	25	△ 16	4
	製造業	△ 8	15	71	14	1	9	14	72	14	0	△ 1
	卸売･小売業	△ 8	8	80	12	△ 4	4	5	84	11	△ 6	△ 2
	運輸･通信業	△ 18	3	77	20	△ 17	1	8	72	20	△ 12	5
	サービス業	△ 7	11	65	24	△ 13	△ 6	13	67	20	△ 7	6
資本金	5千万円未満	△ 14	8	73	19	△ 11	3	8	74	18	△ 10	1
	5千万以上～1億円未満	△ 10	10	69	21	△ 11	△ 1	9	74	17	△ 8	3
	1億円以上	△ 10	13	69	18	△ 5	5	14	70	16	△ 2	3
地域	道南	△ 13	8	71	21	△ 13	0	7	71	22	△ 15	△ 2
	道央	△ 10	12	71	17	△ 5	5	14	70	16	△ 2	3
	道北	△ 16	6	72	22	△ 16	0	6	76	18	△ 12	4
	オホーツク	△ 17	9	72	19	△ 10	7	3	80	17	△ 14	△ 4
	十勝	△ 16	7	74	19	△ 12	4	7	77	16	△ 9	3
	釧路･根室	△ 10	9	68	23	△ 14	△ 4	11	68	21	△ 10	4

②雇用者の過不足感

・今期のＢＳＩは＋４（前期比＋２）

産業別にみると、卸売･小売業でプラス幅が拡大、製造業ではマイナス幅が縮小した。建設業ではマイナス幅が拡大した。

地域別にみると、釧路･根室でプラス幅が拡大、オホーツクではマイナス幅が縮小した。十勝が不足から過剰に転じ、道南ではプラス幅が縮小した。

・来期の見通しは＋６（今期比＋２）

図2－(2) 雇用者の過不足感

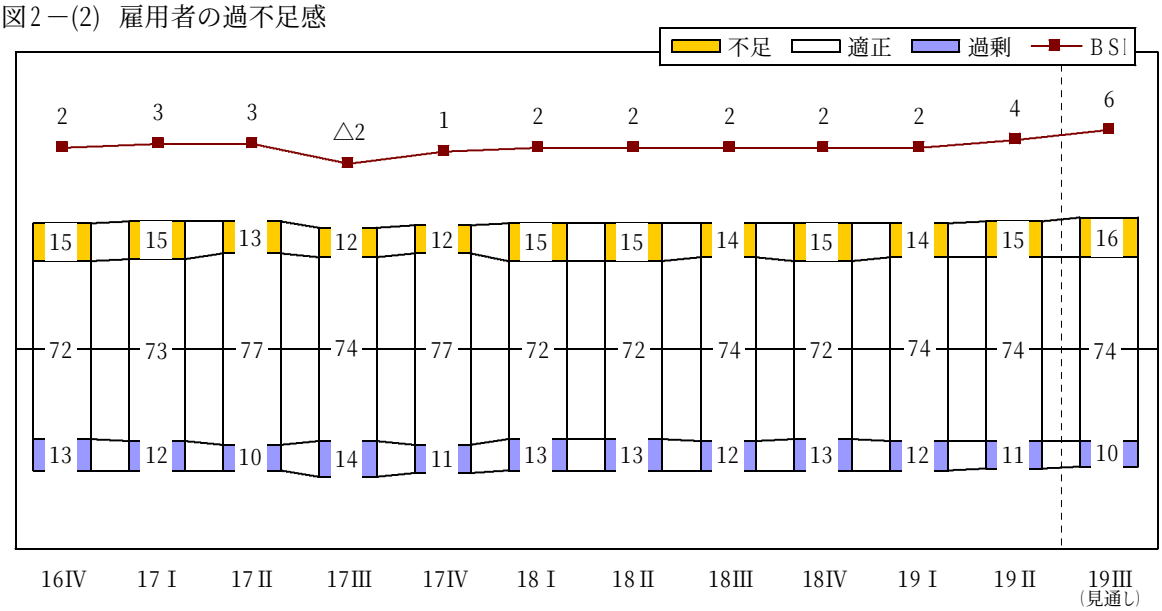


表2-(2) 雇用者過不足感（産業･資本金･地域別）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計		2	15	74	11	4	2	16	74	10	6	2
産業	建設業	△ 14	10	63	27	△ 17	△ 3	11	68	21	△ 10	7
	製造業	△ 4	7	85	8	△ 1	3	9	84	7	2	3
	卸売･小売業	3	13	81	6	7	4	11	83	6	5	△ 2
	運輸･通信業	11	17	76	7	10	△ 1	20	71	9	11	1
	サービス業	21	30	62	8	22	1	31	60	9	22	0
資本金	5千万円未満	3	14	76	10	4	1	16	73	11	5	1
	5千万以上～1億円未満	△ 4	11	72	17	△ 6	△ 2	12	75	13	△ 1	5
	1億円以上	8	19	72	9	10	2	19	74	7	12	2
地域	道南	10	14	79	7	7	△ 3	16	76	8	8	1
	道央	6	17	73	10	7	1	16	75	9	7	0
	道北	△ 6	11	71	18	△ 7	△ 1	13	71	16	△ 3	4
	オホーツク	△ 7	9	78	13	△ 4	3	15	73	12	3	7
	十勝	8	12	74	14	△ 2	△ 10	16	75	9	7	9
	釧路･根室	0	21	70	9	12	12	23	68	9	14	2

■　在庫、価格水準（前年同期比）

①製造業

・今期の在庫水準は、前期と比べ「過大」が増加し、過大傾向が強まった。
　仕入価格は「上昇」が増加し、上昇傾向が強まった。
　製品価格は「上昇」が増加し、ほぼもち合いとなった。
・来期の在庫水準の見通しは、今期と比べ過大傾向が弱まると見込まれている。
　仕入価格、製品価格ともに、ほぼ横ばいと見込まれている。

図３－(1)　製品在庫水準～製造業

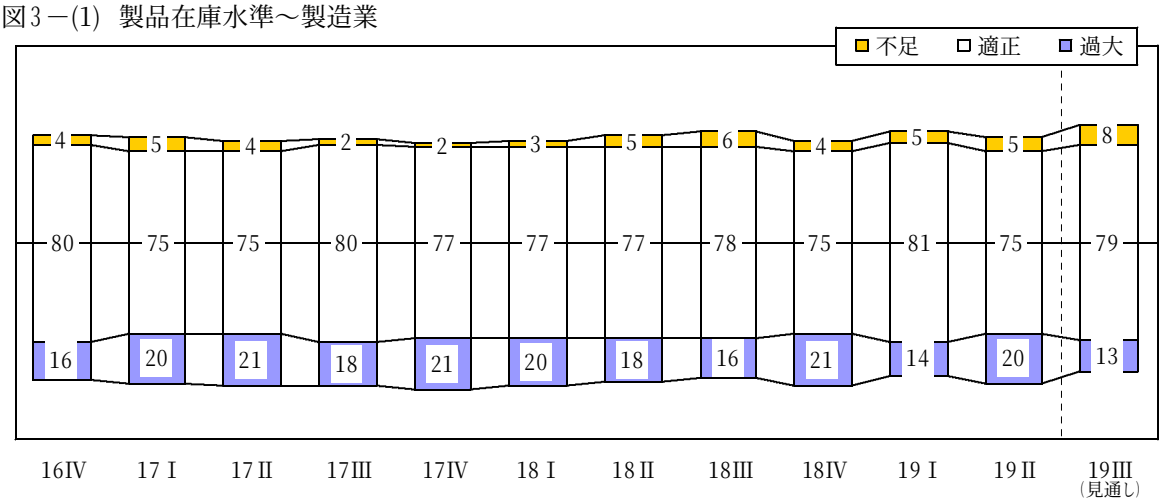


図３－(2)　仕入価格（原材料）～製造業

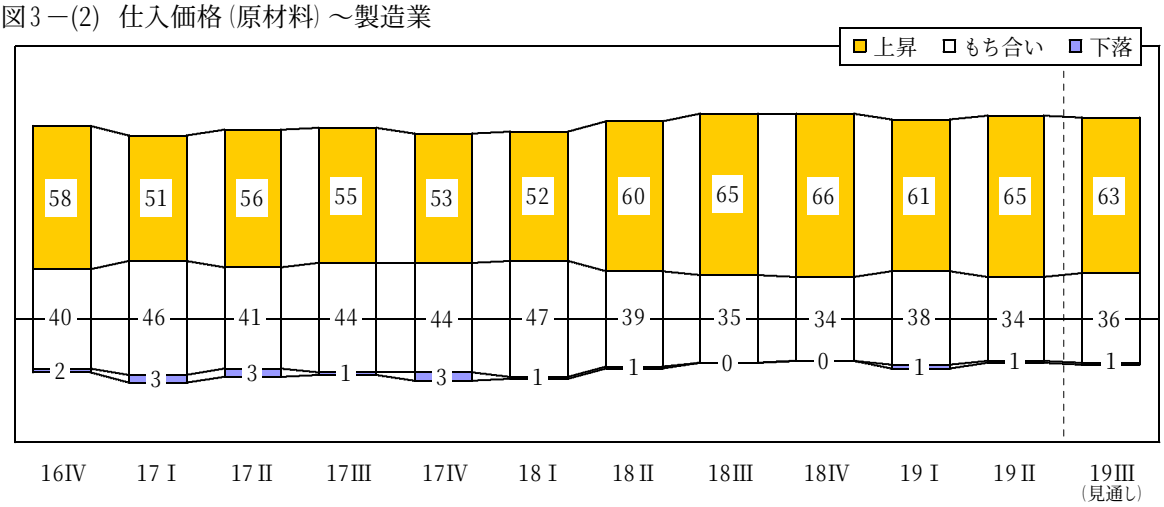
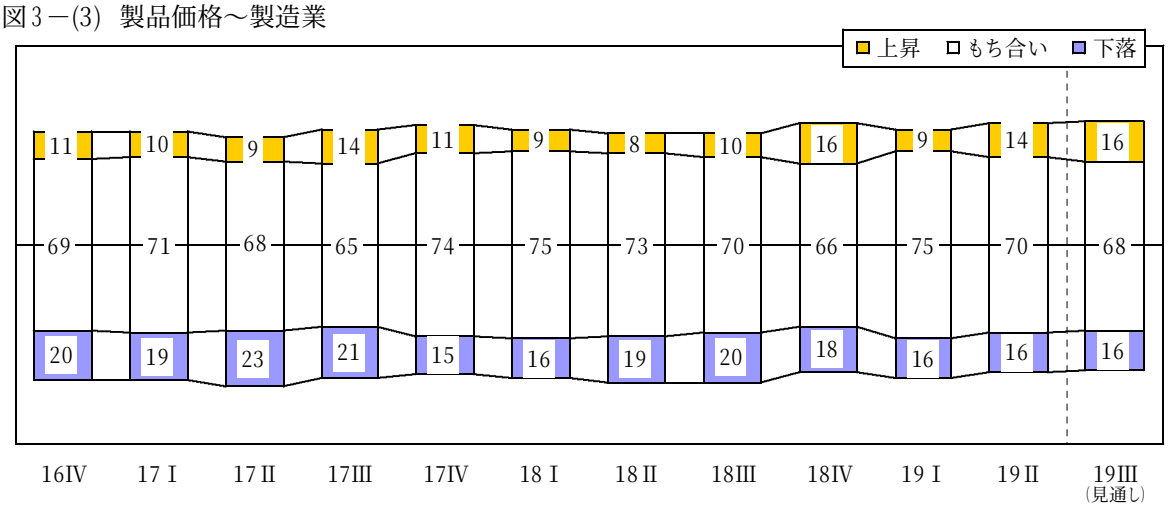


図３－(3)　製品価格～製造業



②卸売･小売業

･今期の在庫水準は、前期と比べ過大傾向が弱まった。
　仕入価格は「上昇」が増加、「下落」が減少し、上昇傾向が強まった。
　商品価格は「上昇」が増加し、上昇傾向が強まった。
･来期の在庫水準の見通しは、今期と比べ横ばいと見込まれている。
　仕入価格は上昇傾向が弱まり、製品価格はほぼ横ばいと見込まれている。

図３－(4)　製品在庫水準～卸売･小売業

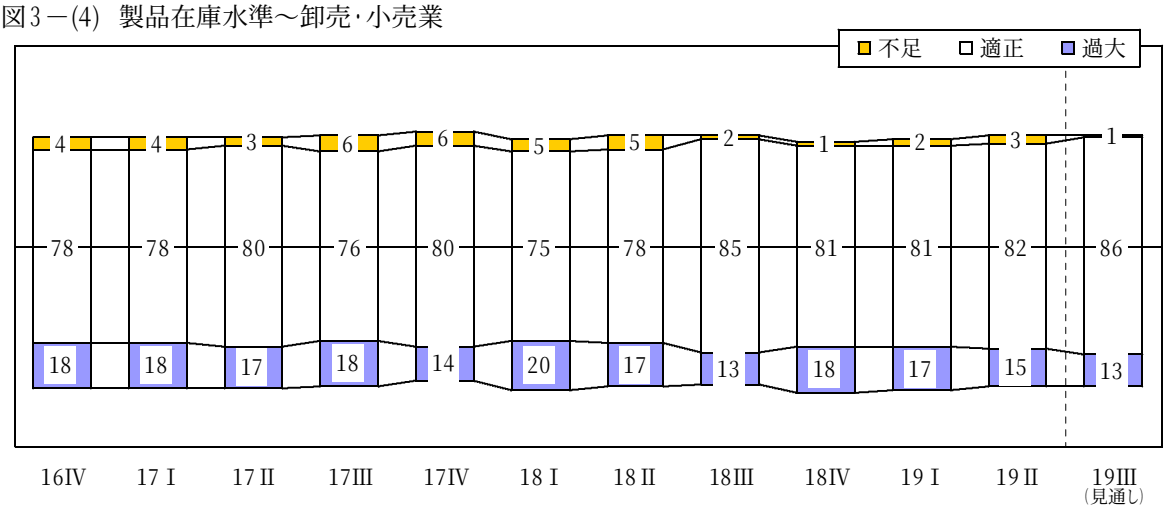


図３－(5)　仕入価格（商品）～卸売･小売業

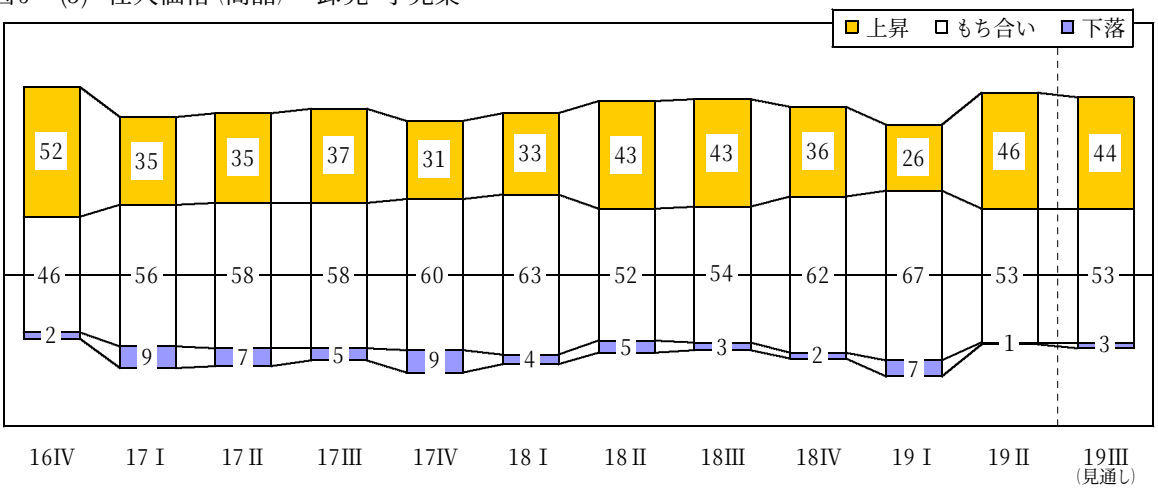
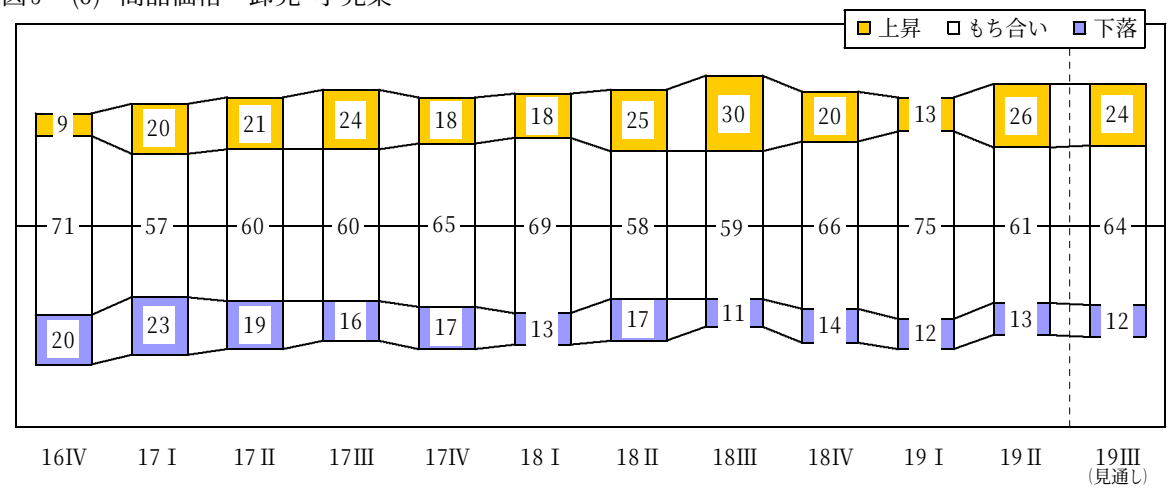


図３－(6)　商品価格～卸売･小売業



■　設備投資の状況

・今期では、「設備投資をした」と回答した企業は30％で、前期と比べ増加した。
　設備投資の目的を複数回答で聞いたところ、「設備更新」が64％、「売上能力拡大」が27％、「合理化・省力化」が15％の順となった。

・来期の見通しでは「設備投資をする」が30％で、今期と比べ横ばいと見込まれている。

図4－(1)　設備投資の状況

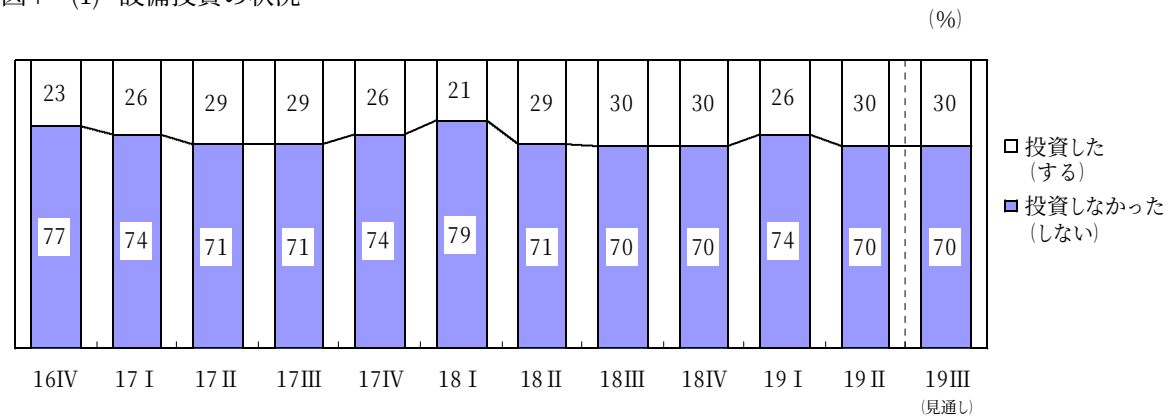


図4－(2)　設備投資の目的（複数回答）

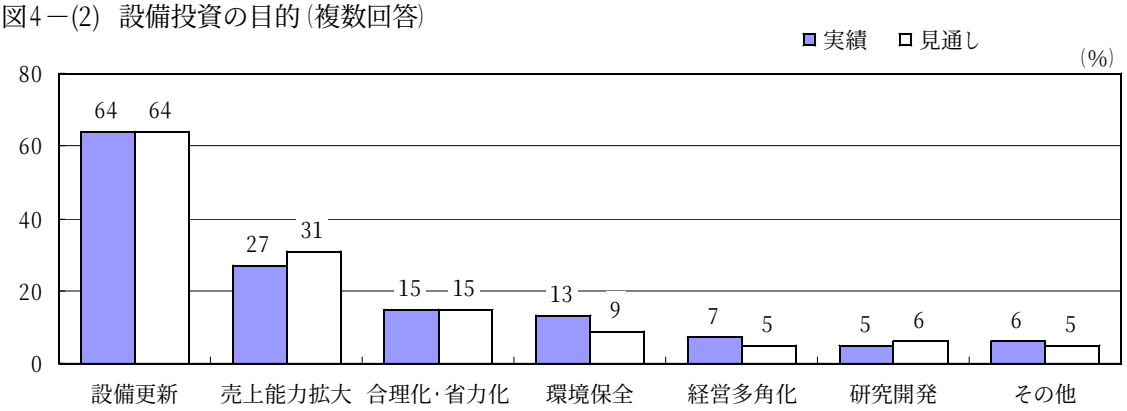


表4－(1) 設備投資の状況（19年Ⅱ期実績）

（%）

区分		19年Ⅰ期（1-3月）設備投資した	19年Ⅱ期（4-6月）設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
				売上能力拡大	合理化省力化	経営多角化	研究開発	環境保全	設備更新	その他
総計		26	30	27	15	7	5	13	64	6
産業	建設業	20	25	22	13	13	6	13	56	0
	製造業	32	37	30	20	5	2	11	70	7
	卸売･小売業	19	22	36	15	6	3	21	58	9
	運輸･通信業	32	35	19	6	10	0	3	84	10
	サービス業	27	31	25	15	5	15	15	53	3
資本金	5千万円未満	20	23	22	11	11	8	10	59	6
	5千万以上～1億円未満	24	30	36	17	5	2	14	64	0
	1億円以上	40	45	28	18	4	3	15	70	9
地域	道南	17	20	25	25	6	6	13	56	6
	道央	28	34	33	15	7	3	13	63	7
	道北	24	25	14	10	10	0	5	81	0
	オホーツク	20	29	15	15	15	15	15	55	0
	十勝	27	27	39	6	6	11	22	56	6
	釧路･根室	30	35	16	16	0	5	5	74	11

表4－(2) 設備投資の状況（19年Ⅲ期見通し）

（%）

区分		19年Ⅲ期（7-9月）設備投資する	設備投資の目的（複数回答）						
			売上能力拡大	合理化省力化	経営多角化	研究開発	環境保全	設備更新	その他
総計		30	31	15	5	6	9	64	5
産業	建設業	18	30	22	17	4	17	48	4
	製造業	43	36	23	2	6	5	59	3
	卸売･小売業	29	36	7	7	2	9	64	5
	運輸･通信業	34	13	7	0	0	10	77	10
	サービス業	25	28	13	3	16	13	72	6
資本金	5千万円未満	22	23	13	5	12	9	60	9
	5千万以上～1億円未満	30	29	15	7	2	7	68	0
	1億円以上	50	39	18	3	1	11	65	4
地域	道南	23	11	17	6	6	0	67	11
	道央	35	41	18	5	3	9	63	6
	道北	23	16	11	5	5	11	68	0
	オホーツク	21	14	7	7	14	29	50	0
	十勝	36	33	13	4	13	13	50	4
	釧路･根室	31	18	12	0	6	0	88	6

■　地域別にみる各産業の動向（前年同期比）

【道南】
・今期の業況感ＢＳＩは△３４（前期比△１１）

業種別に見ると、建設業、卸売･小売業、運輸･通信業でマイナス幅が縮小した。サービス業が下降に転じ、製造業ではマイナス幅が拡大した。

図５－(1)　地域別ＢＳＩの推移（道南）

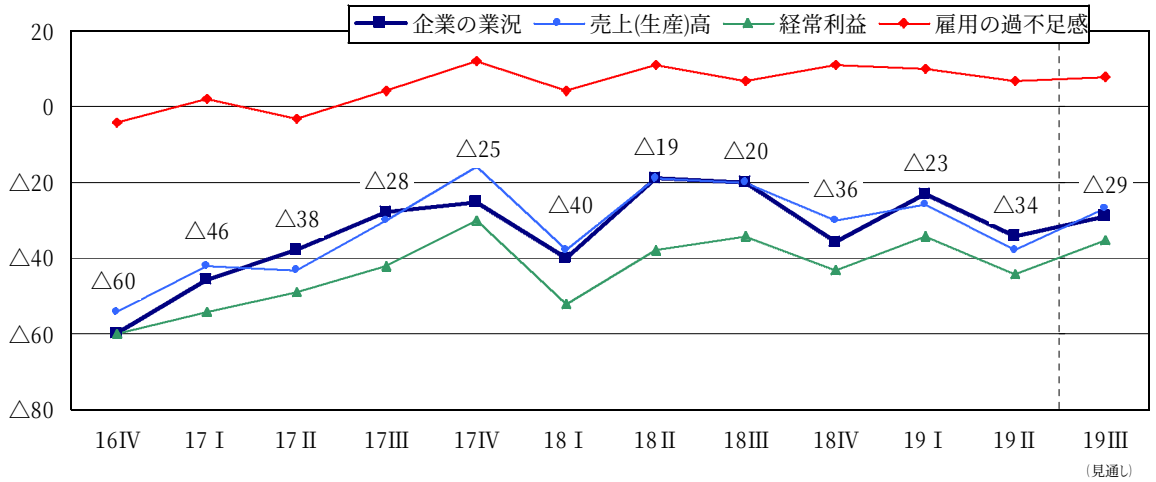


表５－(1)　地域別BSI（道南）

区　分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 24	1	64	35	△ 34	△ 10	1	69	30	△ 29	5
企業の業況	全産業	△ 23	8	50	42	△ 34	△ 11	6	59	35	△ 29	5
	建設業	△ 46	6	50	44	△ 38	8	0	56	44	△ 44	△ 6
	製造業	△ 12	12	35	53	△ 41	△ 29	6	69	25	△ 19	22
	卸売･小売業	△ 32	5	63	32	△ 27	5	5	59	36	△ 31	△ 4
	運輸･通信業	△ 50	17	41	42	△ 25	25	0	58	42	△ 42	△ 17
	サービス業	12	7	53	40	△ 33	△ 45	20	53	27	△ 7	26
売上(生産)高	全産業	△ 26	10	42	48	△ 38	△ 12	7	59	34	△ 27	11
	建設業	△ 64	6	44	50	△ 44	20	6	47	47	△ 41	3
	製造業	△ 16	18	35	47	△ 29	△ 13	6	70	24	△ 18	11
	卸売･小売業	△ 19	5	59	36	△ 31	△ 12	5	63	32	△ 27	4
	運輸･通信業	△ 50	17	41	42	△ 25	25	8	50	42	△ 34	△ 9
	サービス業	6	7	26	67	△ 60	△ 66	13	60	27	△ 14	46
経常利益	全産業	△ 34	7	42	51	△ 44	△ 10	6	53	41	△ 35	9
	建設業	△ 79	0	41	59	△ 59	20	0	44	56	△ 56	3
	製造業	△ 11	12	29	59	△ 47	△ 36	6	53	41	△ 35	12
	卸売･小売業	△ 19	5	54	41	△ 36	△ 17	5	54	41	△ 36	0
	運輸･通信業	△ 67	17	41	42	△ 25	42	8	50	42	△ 34	△ 9
	サービス業	△ 12	7	40	53	△ 46	△ 34	13	60	27	△ 14	32
雇用の過不足感	全産業	10	14	79	7	7	△ 3	16	76	8	8	1
	建設業	△ 7	0	83	17	△ 17	△ 10	0	82	18	△ 18	△ 1
	製造業	0	12	82	6	6	6	12	76	12	0	△ 6
	卸売･小売業	△ 7	5	86	9	△ 4	3	5	86	9	△ 4	0
	運輸･通信業	25	33	67	0	33	8	33	67	0	33	0
	サービス業	44	33	67	0	33	△ 11	40	60	0	40	7

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
　雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

【道央】
・今期の業況感ＢＳＩは△１４（前期比＋４）

業種別に見ると、製造業、卸売･小売業、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大した。

図５－(2) 地域別ＢＳＩの推移（道央）

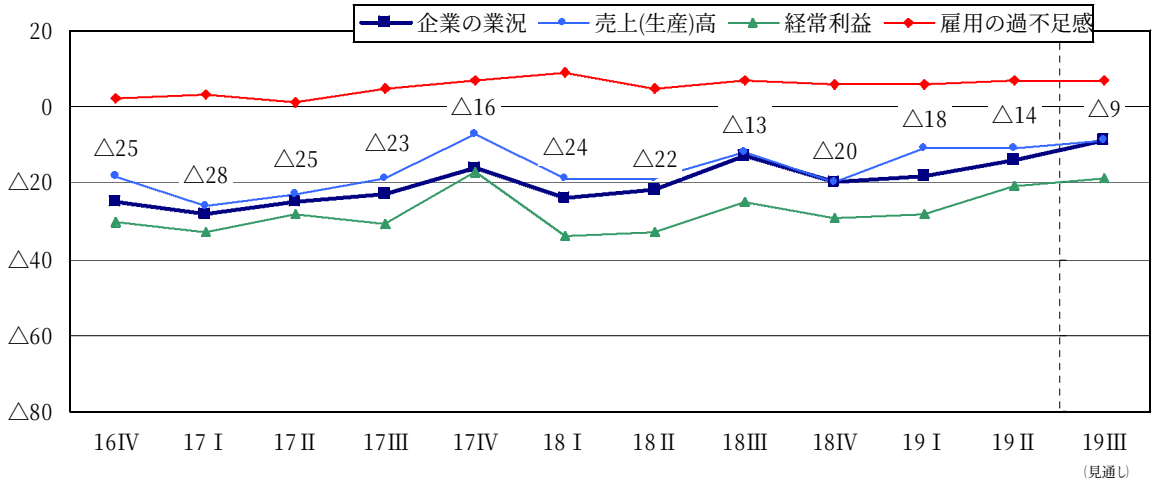


表５－(2) 地域別BSI（道央）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 23	4	72	24	△ 20	3	5	75	20	△ 15	5
企業の業況	全産業	△ 18	13	60	27	△ 14	4	13	65	22	△ 9	5
	建設業	△ 29	8	55	37	△ 29	0	9	55	36	△ 27	2
	製造業	△ 20	12	59	29	△ 17	3	15	68	17	△ 2	15
	卸売･小売業	△ 14	21	56	23	△ 2	12	19	65	16	3	5
	運輸･通信業	△ 32	8	61	31	△ 23	9	11	60	29	△ 18	5
	サービス業	△ 1	11	69	20	△ 9	△ 8	7	73	20	△ 13	△ 4
売上(生産)高	全産業	△ 11	19	51	30	△ 11	0	17	57	26	△ 9	2
	建設業	△ 27	17	35	48	△ 31	△ 4	14	43	43	△ 29	2
	製造業	△ 8	25	48	27	△ 2	6	21	61	18	3	5
	卸売･小売業	△ 8	23	51	26	△ 3	5	19	56	25	△ 6	△ 3
	運輸･通信業	△ 3	21	48	31	△ 10	△ 7	26	48	26	0	10
	サービス業	△ 8	8	71	21	△ 13	△ 5	7	71	22	△ 15	△ 2
経常利益	全産業	△ 28	15	49	36	△ 21	7	13	55	32	△ 19	2
	建設業	△ 44	10	36	54	△ 44	0	6	43	51	△ 45	△ 1
	製造業	△ 32	16	53	31	△ 15	17	12	61	27	△ 15	0
	卸売･小売業	△ 23	21	44	35	△ 14	9	18	53	29	△ 11	3
	運輸･通信業	△ 41	15	44	41	△ 26	15	15	47	38	△ 23	3
	サービス業	△ 12	13	64	23	△ 10	2	12	68	20	△ 8	2
雇用の過不足感	全産業	6	17	73	10	7	1	16	75	9	7	0
	建設業	△ 8	15	58	27	△ 12	△ 4	13	62	25	△ 12	0
	製造業	△ 6	8	84	8	0	6	9	83	8	1	1
	卸売･小売業	7	9	85	6	3	△ 4	6	88	6	0	△ 3
	運輸･通信業	12	18	77	5	13	1	18	77	5	13	0
	サービス業	24	37	58	5	32	8	36	61	3	33	1

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

【道北】

・今期の業況感ＢＳＩは△４０（前期比△１５）

業種別に見ると、建設業、運輸･通信業でマイナス幅が縮小、製造業、卸売･小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

図５－(3) 地域別ＢＳＩの推移（道北）

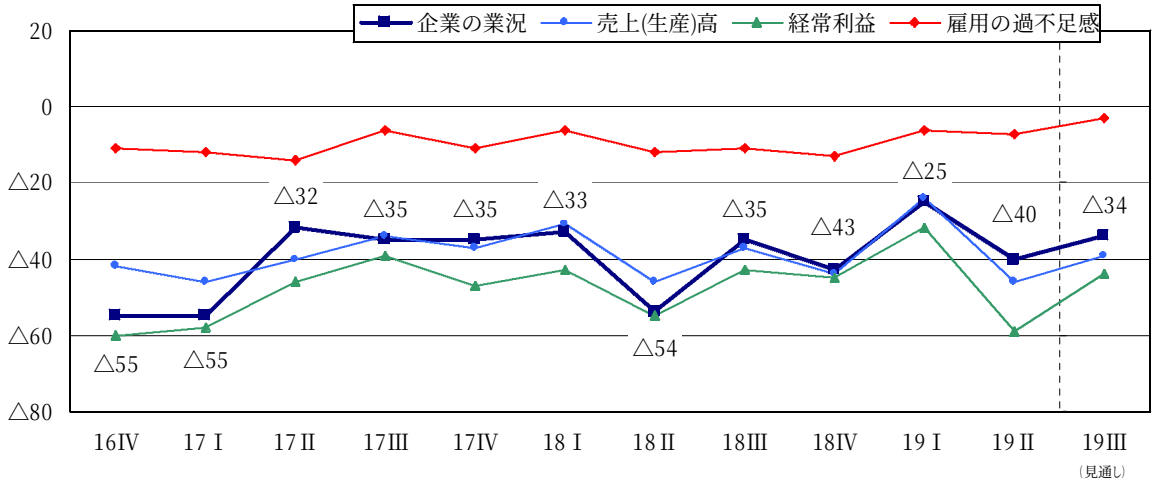


表５－(3) 地域別BSI（道北）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 24	8	61	31	△ 23	1	6	66	28	△ 22	1
企業の業況	全産業	△ 25	5	50	45	△ 40	△ 15	6	54	40	△ 34	6
	建設業	△ 45	5	50	45	△ 40	5	5	55	40	△ 35	5
	製造業	0	5	63	32	△ 27	△ 27	19	62	19	0	27
	卸売･小売業	△ 30	6	41	53	△ 47	△ 17	0	44	56	△ 56	△ 9
	運輸･通信業	△ 33	9	55	36	△ 27	6	0	55	45	△ 45	△ 18
	サービス業	△ 29	0	41	59	△ 59	△ 30	0	53	47	△ 47	12
売上(生産)高	全産業	△ 24	5	44	51	△ 46	△ 22	10	41	49	△ 39	7
	建設業	△ 52	10	35	55	△ 45	7	11	26	63	△ 52	△ 7
	製造業	12	9	59	32	△ 23	△ 35	29	42	29	0	23
	卸売･小売業	△ 35	0	33	67	△ 67	△ 32	6	38	56	△ 50	17
	運輸･通信業	△ 30	0	55	45	△ 45	△ 15	0	45	55	△ 55	△ 10
	サービス業	△ 23	0	41	59	△ 59	△ 36	0	53	47	△ 47	12
経常利益	全産業	△ 32	3	35	62	△ 59	△ 27	5	46	49	△ 44	15
	建設業	△ 60	5	20	75	△ 70	△ 10	5	32	63	△ 58	12
	製造業	△ 25	0	41	59	△ 59	△ 34	14	48	38	△ 24	35
	卸売･小売業	△ 25	6	29	65	△ 59	△ 34	0	41	59	△ 59	0
	運輸･通信業	△ 30	0	45	55	△ 55	△ 25	0	45	55	△ 55	0
	サービス業	△ 17	6	41	53	△ 47	△ 30	0	65	35	△ 35	12
雇用の過不足感	全産業	△ 6	11	71	18	△ 7	△ 1	13	71	16	△ 3	4
	建設業	△ 30	10	55	35	△ 25	5	10	70	20	△ 10	15
	製造業	0	5	81	14	△ 9	△ 9	10	80	10	0	9
	卸売･小売業	△ 5	28	61	11	17	22	22	67	11	11	△ 6
	運輸･通信業	10	0	91	9	△ 9	△ 19	0	73	27	△ 27	△ 18
	サービス業	0	13	68	19	△ 6	△ 6	19	62	19	0	6

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

【オホーツク】
・今期の業況感ＢＳＩは△３３（前期比＋１）

業種別に見ると、製造業、運輸･通信業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大した。

図５－(4) 地域別ＢＳＩの推移（オホーツク）

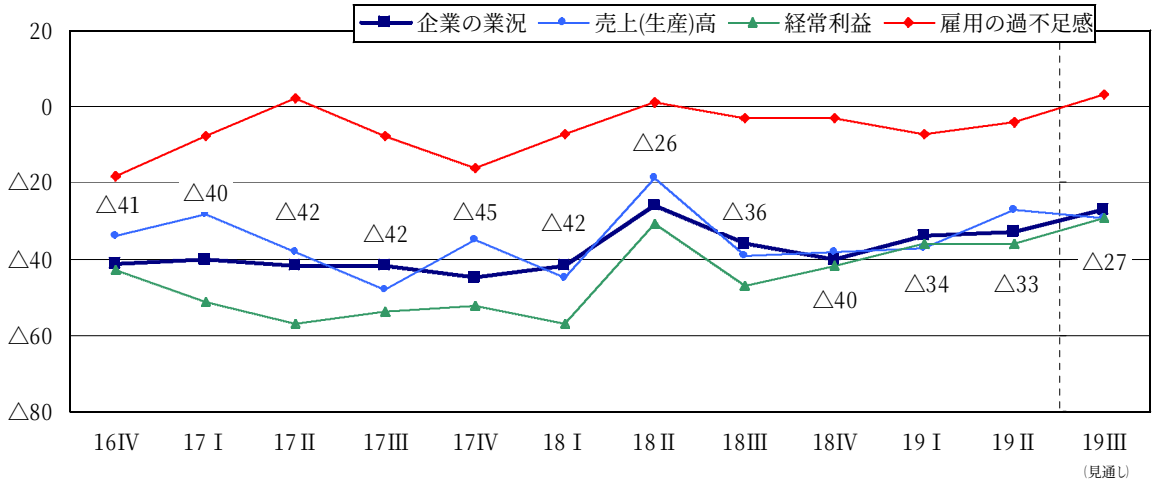


表５－(4) 地域別BSI（オホーツク）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 49	3	51	46	△ 43	6	6	51	43	△ 37	6
企業の業況	全産業	△ 34	12	43	45	△ 33	1	8	57	35	△ 27	6
	建設業	△ 13	8	42	50	△ 42	△ 29	0	45	55	△ 55	△ 13
	製造業	△ 35	21	43	36	△ 15	20	7	64	29	△ 22	△ 7
	卸売･小売業	△ 27	19	37	44	△ 25	2	19	56	25	△ 6	19
	運輸･通信業	△ 37	0	78	22	△ 22	15	0	100	0	0	22
	サービス業	△ 60	6	31	63	△ 57	3	6	38	56	△ 50	7
売上(生産)高	全産業	△ 37	19	35	46	△ 27	10	12	47	41	△ 29	△ 2
	建設業	△ 6	15	39	46	△ 31	△ 25	0	46	54	△ 54	△ 23
	製造業	△ 47	20	40	40	△ 20	27	7	60	33	△ 26	△ 6
	卸売･小売業	△ 30	25	37	38	△ 13	17	25	50	25	0	13
	運輸･通信業	△ 50	11	45	44	△ 33	17	13	62	25	△ 12	21
	サービス業	△ 53	18	23	59	△ 41	12	12	29	59	△ 47	△ 6
経常利益	全産業	△ 36	12	40	48	△ 36	0	9	53	38	△ 29	7
	建設業	△ 27	8	38	54	△ 46	△ 19	0	46	54	△ 54	△ 8
	製造業	△ 47	13	40	47	△ 34	13	7	53	40	△ 33	1
	卸売･小売業	△ 18	7	46	47	△ 40	△ 22	20	67	13	7	47
	運輸･通信業	△ 37	11	78	11	0	37	13	74	13	0	0
	サービス業	△ 47	18	17	65	△ 47	0	6	35	59	△ 53	△ 6
雇用の過不足感	全産業	△ 7	9	78	13	△ 4	3	15	73	12	3	7
	建設業	△ 20	0	67	33	△ 33	△ 13	8	67	25	△ 17	16
	製造業	6	0	93	7	△ 7	△ 13	0	100	0	0	7
	卸売･小売業	△ 9	13	87	0	13	22	13	87	0	13	0
	運輸･通信業	△ 13	0	89	11	△ 11	2	25	62	13	12	23
	サービス業	△ 7	24	58	18	6	13	29	47	24	5	△ 1

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

【十勝】

・今期の業況感ＢＳＩは△２３（前期比＋９）

業種別に見ると、卸売･小売業でマイナス幅が拡大、その他の産業ではマイナス幅が縮小した。

図５－(5) 地域別ＢＳＩの推移（十勝）

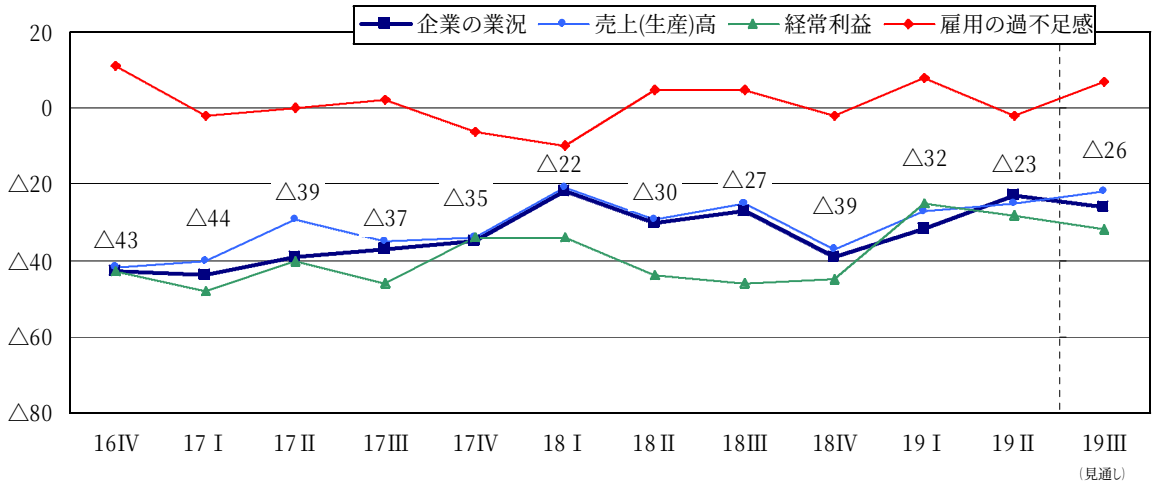


表５－(5) 地域別BSI（十勝）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	19年Ⅲ期(7-9月)見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 25	4	64	32	△ 28	△ 3	9	58	33	△ 24	4
企業の業況	全産業	△ 32	12	53	35	△ 23	9	9	56	35	△ 26	△ 3
	建設業	△ 62	7	40	53	△ 46	16	20	40	40	△ 20	26
	製造業	△ 15	25	44	31	△ 6	9	6	56	38	△ 32	△ 26
	卸売･小売業	△ 33	0	64	36	△ 36	△ 3	0	64	36	△ 36	0
	運輸･通信業	△ 15	18	55	27	△ 9	6	0	64	36	△ 36	△ 27
	サービス業	△ 25	8	69	23	△ 15	10	15	62	23	△ 8	7
売上(生産)高	全産業	△ 27	13	49	38	△ 25	2	14	50	36	△ 22	3
	建設業	△ 54	7	46	47	△ 40	14	27	33	40	△ 13	27
	製造業	△ 8	19	50	31	△ 12	△ 4	6	56	38	△ 32	△ 20
	卸売･小売業	△ 27	7	43	50	△ 43	△ 16	7	50	43	△ 36	7
	運輸･通信業	△ 15	18	46	36	△ 18	△ 3	0	64	36	△ 36	△ 18
	サービス業	△ 25	15	62	23	△ 8	17	31	46	23	8	16
経常利益	全産業	△ 25	17	38	45	△ 28	△ 3	13	42	45	△ 32	△ 4
	建設業	△ 47	7	40	53	△ 46	1	13	34	53	△ 40	6
	製造業	△ 16	31	38	31	0	16	13	43	44	△ 31	△ 31
	卸売･小売業	△ 20	7	36	57	△ 50	△ 30	7	57	36	△ 29	21
	運輸･通信業	△ 43	18	37	45	△ 27	16	0	45	55	△ 55	△ 28
	サービス業	0	23	39	38	△ 15	△ 15	31	31	38	△ 7	8
雇用の過不足感	全産業	8	12	74	14	△ 2	△ 10	16	75	9	7	9
	建設業	△ 23	7	53	40	△ 33	△ 10	13	74	13	0	33
	製造業	9	0	94	6	△ 6	△ 15	6	94	0	6	12
	卸売･小売業	20	21	72	7	14	△ 6	29	64	7	22	8
	運輸･通信業	0	9	82	9	0	0	9	73	18	△ 9	△ 9
	サービス業	43	23	69	8	15	△ 28	23	69	8	15	0

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

【釧路･根室】
・今期の業況感ＢＳＩは△２６（前期比＋５）

業種別に見ると、製造業、運輸･通信業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業ではマイナス幅が拡大した。

図５－(6) 地域別ＢＳＩの推移（釧路･根室）

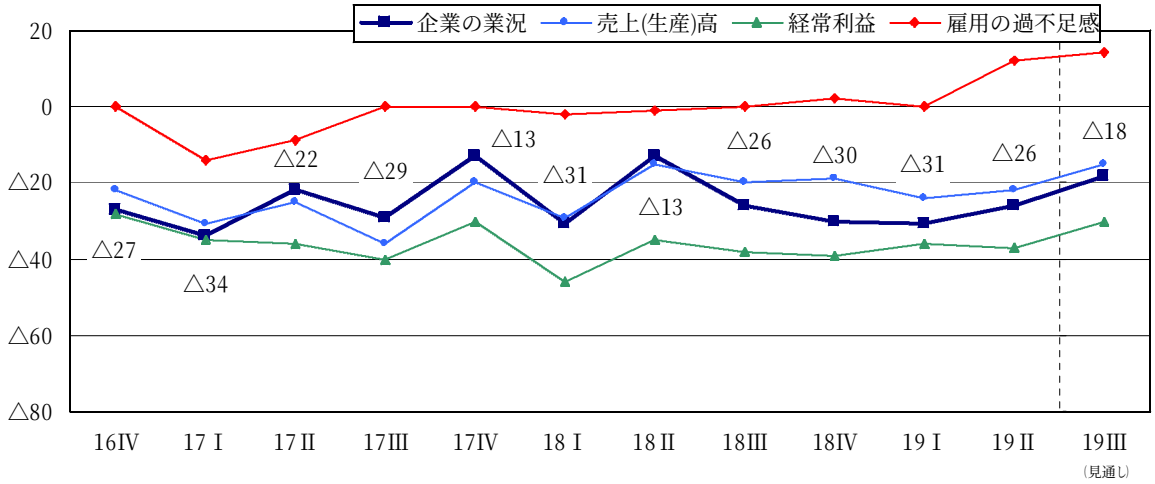


表５－(6) 地域別BSI（釧路･根室）

区 分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
道内の景況感		△ 37	13	54	33	△ 20	17	13	63	24	△ 11	9
企業の業況	全産業	△ 31	10	54	36	△ 26	5	6	70	24	△ 18	8
	建設業	△ 27	7	50	43	△ 36	△ 9	8	75	17	△ 9	27
	製造業	△ 16	24	52	24	0	16	14	79	7	7	7
	卸売･小売業	△ 22	10	60	30	△ 20	2	0	70	30	△ 30	△ 10
	運輸･通信業	△ 60	0	56	44	△ 44	16	0	44	56	△ 56	△ 12
	サービス業	△ 50	0	56	44	△ 44	6	0	78	22	△ 22	22
売上(生産)高	全産業	△ 24	15	48	37	△ 22	2	10	65	25	△ 15	7
	建設業	△ 34	7	36	57	△ 50	△ 16	7	79	14	△ 7	43
	製造業	△ 5	35	47	18	17	22	24	58	18	6	△ 11
	卸売･小売業	0	10	50	40	△ 30	△ 30	0	50	50	△ 50	△ 20
	運輸･通信業	△ 60	11	56	33	△ 22	38	0	67	33	△ 33	△ 11
	サービス業	△ 50	0	56	44	△ 44	6	11	67	22	△ 11	33
経常利益	全産業	△ 36	12	39	49	△ 37	△ 1	7	56	37	△ 30	7
	建設業	△ 41	7	29	64	△ 57	△ 16	0	71	29	△ 29	28
	製造業	△ 21	29	24	47	△ 18	3	12	53	35	△ 23	△ 5
	卸売･小売業	△ 23	10	60	30	△ 20	3	10	60	30	△ 20	0
	運輸･通信業	△ 50	0	56	44	△ 44	6	0	44	56	△ 56	△ 12
	サービス業	△ 63	0	44	56	△ 56	7	11	45	44	△ 33	23
雇用の過不足感	全産業	0	21	70	9	12	12	23	68	9	14	2
	建設業	0	14	72	14	0	0	14	72	14	0	0
	製造業	△ 21	12	76	12	0	21	18	70	12	6	6
	卸売･小売業	0	22	78	0	22	22	22	78	0	22	0
	運輸･通信業	20	38	49	13	25	5	57	43	0	57	32
	サービス業	29	33	67	0	33	4	22	67	11	11	△ 22

※売上（生産）高及び経常利益については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と読み替える。
雇用の過不足感については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替える。

■　道内の景況感（前期比）

・今期のＢＳＩは△２５（前期比＋３）

産業別に見ると、建設業、製造業でマイナス幅が縮小、サービス業ではマイナス幅が拡大した。
地域別に見ると、道央、オホーツク、釧路･根室でマイナス幅が縮小、道南、十勝ではマイナス幅が拡大した。

・来期のＢＳＩは△２０（今期比＋５）

図6　道内の景況感

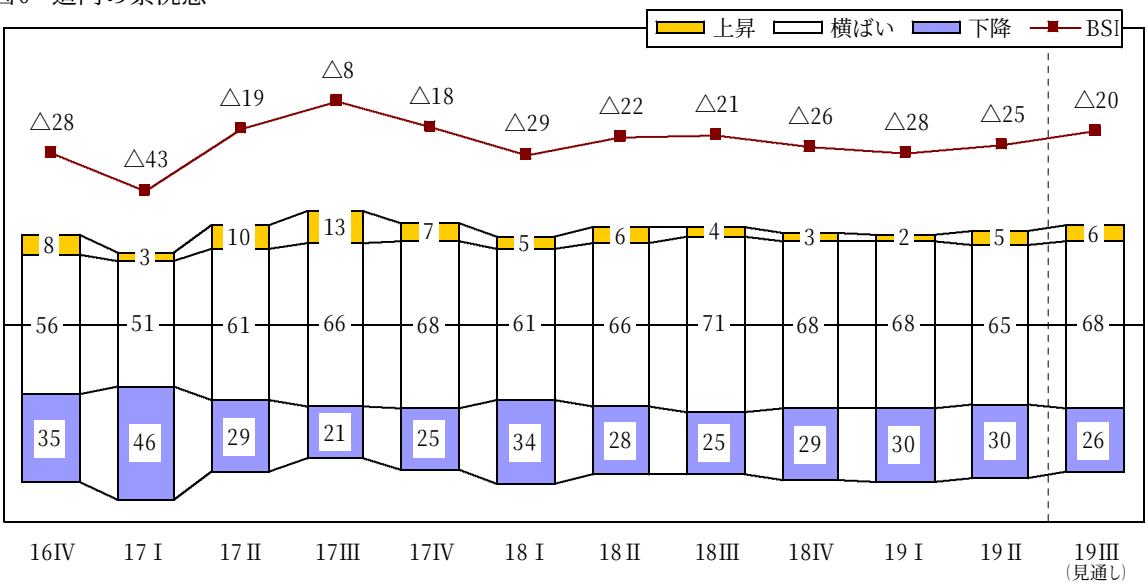


表6　道内の景況感（産業･資本金別）

区　分		19年Ⅰ期(1-3月)実績BSI	19年Ⅱ期(4-6月)実績					19年Ⅲ期(7-9月)見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 28	5	65	30	△ 25	3	6	68	26	△ 20	5
産業	建設業	△ 37	6	54	40	△ 34	3	4	59	37	△ 33	1
	製造業	△ 26	7	68	25	△ 18	8	9	71	20	△ 11	7
	卸売･小売業	△ 25	5	66	29	△ 24	1	4	69	27	△ 23	1
	運輸･通信業	△ 25	2	72	26	△ 24	1	10	72	18	△ 8	16
	サービス業	△ 25	2	68	30	△ 28	△ 3	3	69	28	△ 25	3
資本金	5千万円未満	△ 35	5	61	34	△ 29	6	6	63	31	△ 25	4
	5千万以上～1億円未満	△ 21	5	65	30	△ 25	△ 4	3	71	26	△ 23	2
	1億円以上	△ 16	3	76	21	△ 18	△ 2	7	77	16	△ 9	9
地域	道南	△ 24	1	64	35	△ 34	△ 10	1	69	30	△ 29	5
	道央	△ 23	4	72	24	△ 20	3	5	75	20	△ 15	5
	道北	△ 24	8	61	31	△ 23	1	6	66	28	△ 22	1
	オホーツク	△ 49	3	51	46	△ 43	6	6	51	43	△ 37	6
	十勝	△ 25	4	64	32	△ 28	△ 3	9	58	33	△ 24	4
	釧路･根室	△ 37	13	54	33	△ 20	17	13	63	24	△ 11	9

■　企業経営者の声

自社の業況や先行きについて注目していること、課題･問題点や取組みについて、156社から回答があり、その中から主なものを抜粋して掲載した。

総じて、公共事業等の減少や過当競争、原材料価格の高騰などによる経営の先行きを懸念する声がある一方、コスト削減、新製品の開発などの企業努力に取り組んでいくとの声が寄せられた。

○建設業では、公共事業等の減少や過当競争の中、人件費などのコスト削減など経営の合理化に努めているが経営が厳しいとの声が多く、また、人材確保も難しいとの声が寄せられた。一方、公共工事に依存しない経営を模索しているとの声もあった。

○製造業では、原材料価格の高騰を製品価格への転嫁が進まず苦労しているとの声が多く、新製品の開発や新技術開発などに力を入れるという声も寄せられた。

○卸売･小売業では、地域の人口減少などによる個人消費の落ち込みや大型店の進出で収益低下を懸念する声がある一方、新しく老人福祉の委託事業に着手するとの声があった。

○運輸･通信業では、運送業においては、価格競争や燃料価格の高騰で経営が厳しいとの声が多く、対応に苦慮しているとの声も寄せられた。

○サービス業では、ホテル業が過当競争、ゴルフ場などは利用者の減少などにより厳しいとの声がある一方、施設の改修工事で稼働率の向上を目指すとの声があった。

【建設業】

･原油価格高騰に伴う資材の仕入価格の値上げが顕著であり、工事原価に転嫁出来ず収益を圧迫している。今後も受注競争など厳しい状況が続くと考える。(釧路･根室、電気設備工事業)

･公共工事に依存しない経営を模索している。(道南、一般土木建築工事業)

･材料コストの値上がりや人員増による経費の増加により利益の圧迫が予想される。今後は効率的な人員配置や生コン･パイル製品の値上げなどで、社内コストの吸収や社外コストを分散する。(道央、とび･土工･コンクリート工事業)

･価格競争の激化に伴い利益確保が難しい。資材価格の高騰を請負価格に反映できない。また、従業員の高齢化や専門技術者の不足で技術の伝承ができない。(道央、建設業)

･新卒採用において優秀な人材を確保するのが年々困難になってきている。(道央、木造建築工事業)

･公共事業の縮減、民需の低迷等、既存事業の規模縮小が避けられない状況の中、経営合理化、事業分野や地域の絞り込みによる競争力強化が今後の課題。(道北、総合建設業)

･民間工事価格の下落は落ち着きを取り戻してきたが、公共工事の低価格入札が問題となり、収益の確保が難しい。また、新卒の採用がなかなか出来ない。(釧路･根室、管工事業)

･公共事業の削減や入札契約制度の変更等による受注減･利益率の低下により経営が圧迫、また、民間工事も競争が激化し経営状況は大変厳しい。(道央、土木･建築工事業)

･建設業は相変わらず不況であり、同業者間の合併や廃業が見られ先行の見通しはまったくたたない。現状では従業員に対する教育費もかけられない。(道央、土木工事業)

･中小、零細企業には公共事業削減の影響が大きく、経営を圧迫している。(十勝、建築工事業)

【製造業】
・サバ、ニシン、ナメタ等の輸入魚が高くなり、干し魚は利益が上がらなくなっている。
(十勝、水産食料品製造業)
・公共工事縮小に伴ない生コン需要が減少しているため、生コン工場の集約化を促進する。
(道南、生コンクリート製造業)
・現在の工場は賃貸であるため、北海道の制度資金を利用して１２００坪の土地を購入し、１９年度中に移転を予定している。(道央、金属被覆・彫刻業、熱処理業、自動車部品加工)
・北海道産の原料を加工販売し、道内消費量を高めたい。(道央、殻粉製粉業)
・建設業界の構造的不況のため、業績に先が見えない。また、建設会社の倒産が増加しており販売先で信用不安が高まっている。(道央、コンクリート二次製品の製造・販売)
・業界では仕事量が少なく競争が激化している。また、材料費の値上がりのため利益が目減りしている。(道央、建設用・建築用金属製品製造業)
・来年の暖房機市場は横ばい又は増加を予測しているが、新規の民需分野が少ないため、新規の顧客開拓及び新技術開発が必要である。(道央、暖房装置・配管工事用附属品製造業)
・昆布加工は同業者が多く、業者間の競争が激しいため、他業者よりも良い製品を造るよう頑張る。(道央、水産食料品製造業)
・自動車、大型テレビ、紙、製鉄等に納めるプレス機などが順調に推移し業績向上につながっている。道外市場は活発であるが道内は今一歩。(道央、各種機械装置の設計及び製造、販売)
・OEM生産が中心であり、景気の上昇で受注数量が増加している。人材の確保、人件費の上昇、重油の高騰等は問題であるが、取引価格、条件が下げられる一方で対応に苦慮している。
(道央、清涼飲料製造業)
・原料高が製品価格に反映できず、収益面で非常に厳しくなっている。
(道北、ハウスメーカー・部材製造)
・水産加工業は厳しい状況にあり、原料不足で原料価格が高く、中間の加工業者は販売価格になかなか経費を乗せられず苦労している。(道北、冷凍食品製造)
・木材加工業は、海外資材の高騰や人材不足で非常に厳しい状況にある。
(オホーツク、合板製造)
・市場は、徐々に飽和状態となっており、特定の商品に特化した開発・生産を行っている。
(十勝、飼料・有機質肥料製造業)
・北海道の一次産業が元気になる政策を実現することが大切。農業が良くなれば関連産業も良くなり、利益が上がれば納税できる。(道央、農業機械製造・販売)
・地域内で役立つ企業として何をすべきか方向を定めつつ、努力すべきと考えている。
(オホーツク、生コン・コンクリート二次製品製造)
・受注が減少、材料や原油価格の高騰が進む中で製品への価格転嫁が難しい状況。さらなるコストダウンの方法を模索中。(十勝、建築関係製造施工)
・大手同業者との納品価格に差があり、製品価格の引下げを求められるためスーパーや量販店に納品出来ない。(釧路・根室、麺類製造販売)

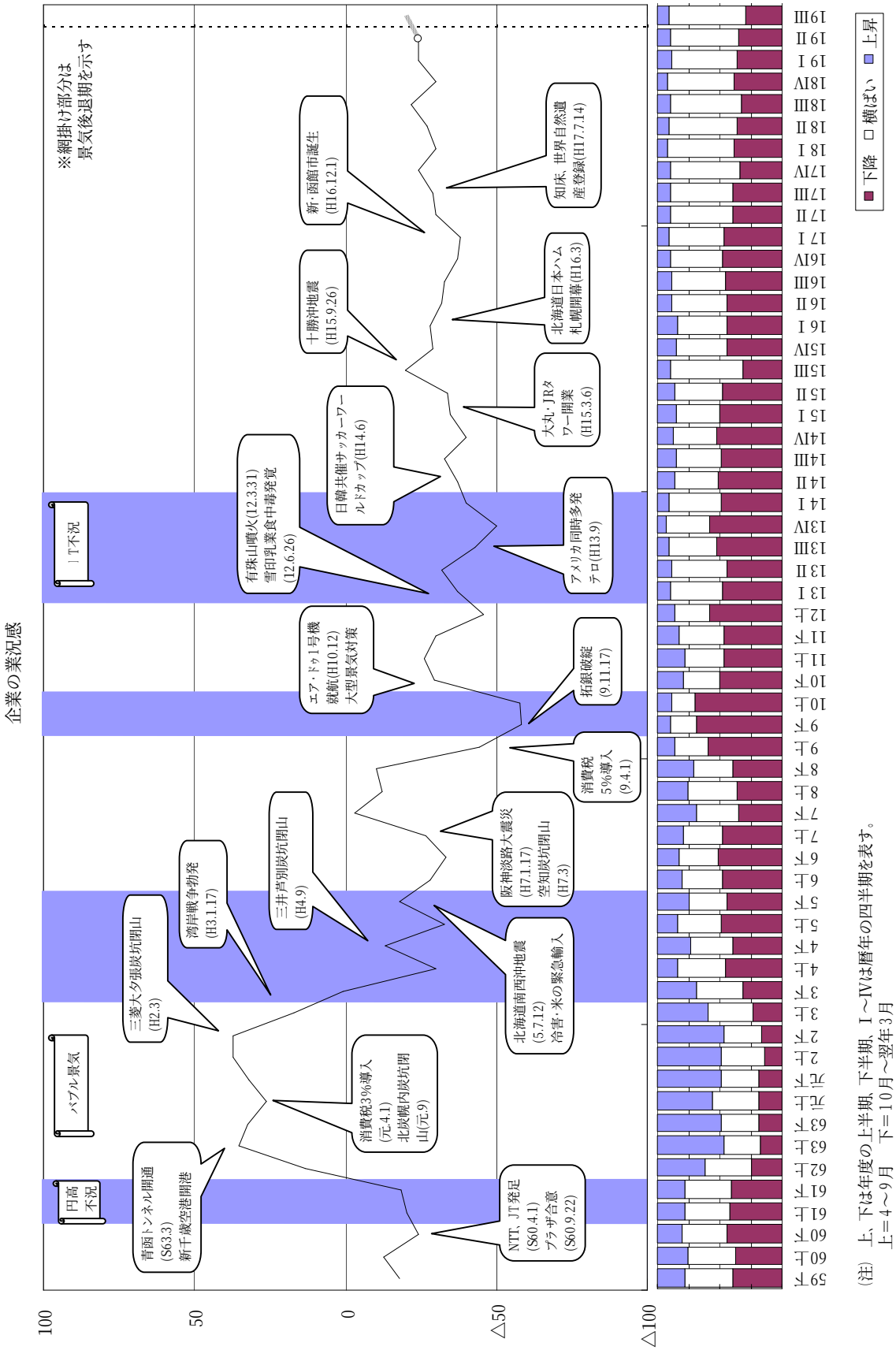
【卸売・小売業】
・最近の円安により輸入花の高騰、ガソリン代の増大等マイナス要因も沢山ありますが、地元に支持される専門店を目指している。また、大型店出店による地元経済の疲弊が懸念される。
(道央、花・植木小売業)

・人材確保が困難であり、派遣スタッフを採用するため人件費が増加している。
(道央、婦人・子供服小売業)
・老人福祉施設を建築し、専門企業に賃貸する新規の委託事業に着手する。
(道南、鋼材・土木資材卸売)
・水産業界において加工業の海外移転やシーフードのグローバル化による仕入価格の高騰等、取り巻く外部環境は益々厳しくなる。(道南、冷蔵倉庫業、水産物卸売業、水産加工業)
・公共事業も少なく公共物件での利益は得にくい環境にある。公共物件は最低価格の維持をしなければ倒産件数は減少しない。(道央、他に分類されないその他の卸売業)
・大店立地法による大型店の進出は地方を疲弊させている。特に中心商店街等が取り組んでいる大型店進出の反対に対して道も国も積極的に関与してこれ以上地域が衰退しないよう取り組んで欲しい。 (道北、衣服・身の回り品卸売業)
・地域の人口流出や外来大型店の出店に伴い、地元商業者の業績は悪化し廃業に追い込まれており、地域経済に大きなマイナス影響を及ぼしている。(釧路・根室、野菜果物卸売市場)
・個人消費の低迷、少子高齢化、地方の過疎化により急激に市場の縮小が進んでいる。
(道南、自動車販売、整備業)
・都市部からの大手量販店、コンビニ等の出店により、商品も札幌物流が増え、地元の企業に多大な影響を与えている。(道南、酒類・食料品卸売業)

【運輸・通信業】
・当社の取扱貨物は農産物・水産物等の一次産品が主流であり、季節変動や天候に左右され安定収益に欠ける。(道央、倉庫業)
・原油価格の高騰による燃料費が増加しており、暫定の税金撤廃など税金の全体的な見直し等を期待したい。(道央、一般貨物自動車運送業)
・全般的に在庫水準は前年を下回って推移している。(道央、倉庫業、運送業)
・石油製品の値上がりにより経営が赤信号状態。軽油税暫定税額の撤廃が必要。
(道北、一般貨物自動車運送業)
・燃料費の高騰による経費の増大と、車輌の代替え等の費用が大変である。現状を維持するのが精一杯。(オホーツク、一般貨物自動車運送業)
・石油価格の高騰による運送コストの増加や生活路線の路線維持補助費削減で厳しい状況。
(オホーツク、一般旅客自動車運送事業)
・国からの委託により酪農分野の研究開発をしており、21年度を目途に事業化する。
(十勝、電気通信に附帯するサービス業)
・運賃アップが期待できず、新規採用も難しい。設備投資が出来ない状態で燃料費アップが収益を悪化させている。(道南、観光バス・旅館業・スタンド・旅行業)
・競争が激しく燃料の高騰分を運賃に転嫁できない。資金力のない者は脱落する。
(道南、一般貨物自動車運送業)
・規制緩和により同業社が増加したが、労働三法の未加入業者や車輌のまた貸しなど、運賃基準を崩した過当競争の中で苦慮している。(道央、一般貨物自動車運送事業)
・原油高騰により軽油価格が上昇しており、運賃転嫁も難しい状況で、このまま高止まりとなれば会社存続も危ぶまれる。(釧路・根室、乗合・貸切バス)

【サービス業】
・平成19年秋リノベーション（改修工事）を予定し、年間稼働向上を目指す。
（道央、宿泊事業、レストラン事業・観光物産販売事業）
・メンテナンス業界も入札・見積の低価格での応札が多くなっており、適正な利益の追求が難しくなっている。(道南、建物設備保守管理・化成品・水処理機器販売保守)
・広告媒体としてマスコミ媒体の低調、フリーペーパーの盛衰、IT関連の増加等の傾向がまだ続き、売上増を狙う媒体の選択が難しい。(道南、広告代理業)
・地方都市における情報処理関係業務が激減している。新しい市場への参入が必要。
（道南、情報処理サービス）
・今後も危機感を持って、サービスレベルを上げる意識改革を持つ。(道央、自動車整備業)
・リース会計制度の改正によるリース業界の環境の変化に対し、新システムの導入や人材育成による将来を見据えた対応が必要。(道央、各種物品賃貸業)
・道内での業務量が少なく、首都圏での業務が増えている。
（道央、データ通信サービスシステム開発等）
・土木建設業界の経営環境は厳しい状況にある。このため建機レンタル業界も同様に厳しさは変わらず、土木建設会社のレンタル依存度が年々高まるとはいえ、激変する経営環境に対応できる企業体質や経営方針の確立が急務。(十勝、建機レンタル業)
・入場数や客単価の増加等を考えているが、プレー代の安い方に客が流れ、また、メンテナンスの部分で経費がかかり、利益が取りづらい状況が続く。(釧路・根室、ゴルフ場)
・競争の激化、売上単価の低下、コストアップ等で収益確保が厳しくなっている。道外からのお客様による売上の割合が大きくなってきている。(釧路・根室、レンタカー・カーリース)
・函館市内の外部資本によるホテルが乱立し、一層の宿泊客の分散と安売競争で、地元企業は生き残っていけない。一企業だけの努力では解決できない問題も多数ある。(道南、旅館業)
・呉服業界は販売不振の店が多く、店主、消費者共に高年齢が主力のため、今の状況が続けば１０年後には半分以下になりそう。「ゆかた」のように若い人にも買ってもらえるような商品開発が必要。(道央、生活関連サービス業)
・自社は施設の老朽化に加え、売上の減少で借入が増え、設備更新に資金がまわらず悪循環である。大手本州資本のチェーンホテルが参入してきたため不調である。(道北、宿泊業)
・取引会社の倒産で中小企業の減少が続き、当社の経営方針であった沢山の企業と取引することができなくなり、大企業との取引の割合が多くなりつつあるため、大企業との取引を失うと大変である。(オホーツク、出版・広告チラシ宅配業)
・ビルメンテナンスの業務量の減少が感じられ、他業務、関連業務へも営業展開が必要。
（オホーツク、ビルメンテナンス）
・ゴルフ場利用者や愛好者の減少、特に若年層のゴルフ離れが著しい。
（オホーツク、ゴルフ場経営・スキー場管理）
・過当競争により売上単価が減少し、業務量が増加しても販売価格を上げられず苦戦している。
（十勝、情報処理サービス業）
・景気回復が感じられない。低単価傾向が続き、営業努力はしているが売上も減少し、利益縮小が続いている。(釧路・根室、温泉旅館業)
・本州資本と系統的な企業は、道央地区で上向き傾向にあるようだが、地方中小企業の停滞は続く。(釧路・根室、書籍・文具・ＣＤ小売り、レンタルビデオ)

■ 調査結果の長期推移



(注) 上、下は年度の上半期、下半期、Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
上＝4～9月　下＝10月～翌年3月
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月

3 特別調査～女性従業員の能力発揮促進

企業における女性従業員の能力発揮促進に対する考えについて、「企業経営者意識調査」の特別調査としてアンケートを実施した。

① 従業員に占める女性の割合について

従業員に占める女性の割合について、494社から回答を得た。
正規従業員（雇用期間を定めないで雇われている者）全体では、「10%以下」の企業が36.8%、「11～20%」が27.3%と高い割合となった。
また、パートタイマー、アルバイト、嘱託、派遣社員等（雇用期間が1カ月未満を除く）を含めた全従業員全体では、「41%以上」の企業が38.9%と高い割合となった。

産業別にみると、サービス業で女性の占める割合の高い企業が多く、建設業、運輸・通信業では少ない結果となった。

図1　正規従業員に占める女性の割合

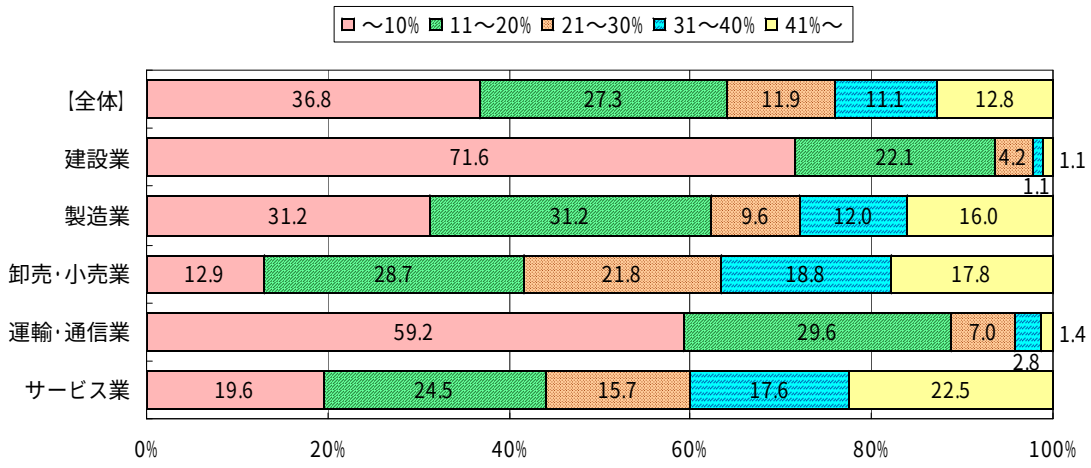
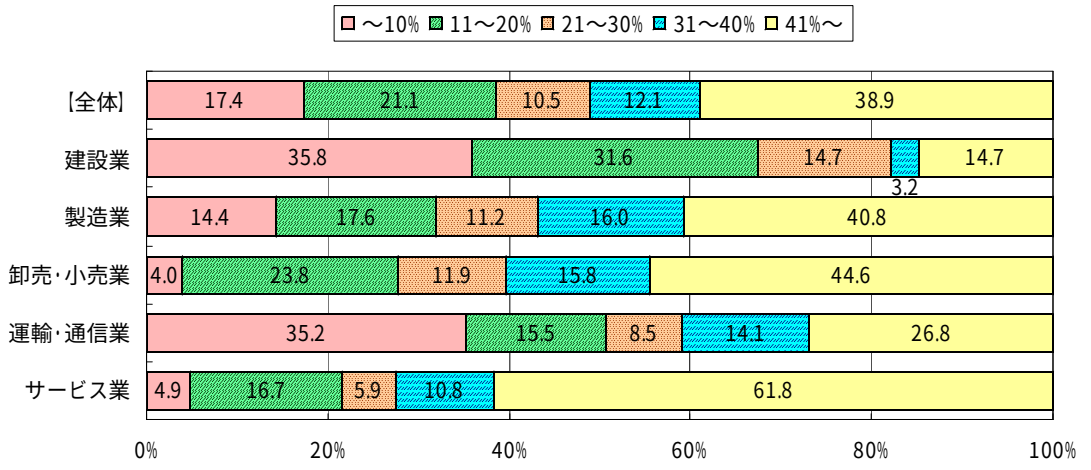


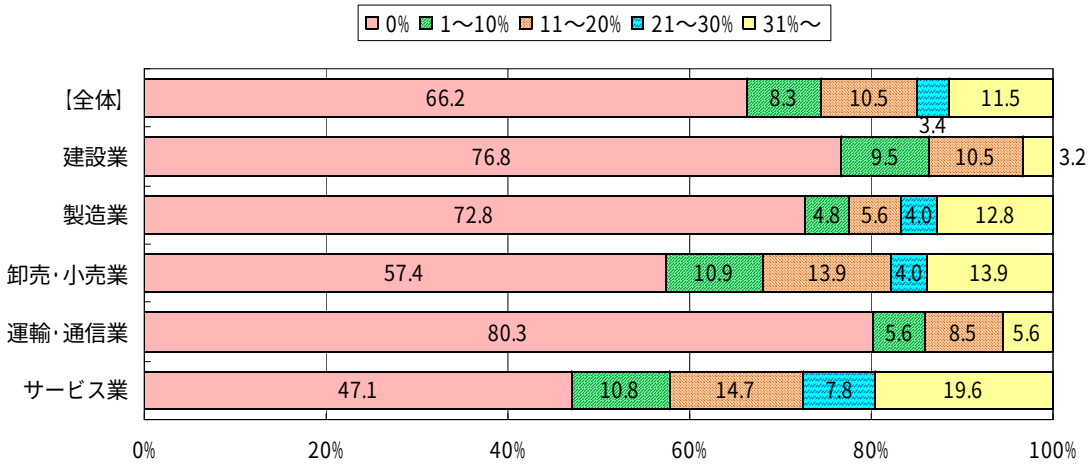
図2　全従業員（パートタイマー等を含む）に占める女性の割合



②役職者（管理職）に占める女性の割合について

女性従業員が在籍する企業における、役職者（管理職以上）に占める女性の割合について、456社から回答を得た。
全体では「女性の役職者はいない」と回答した企業が、66.2%と高い割合を占めた。

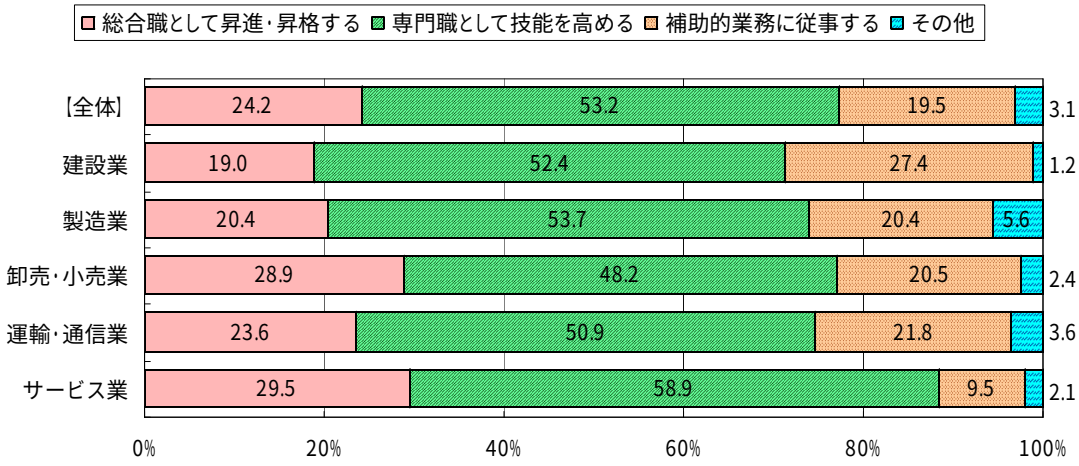
図3　役職者（管理職）に占める女性の割合



③女性従業員に期待する働きについて

女性従業員がどのように働くことを最も希望するかについて、425社から回答を得た。全体では、「専門職として技能を高める」と回答した企業が53.2%と高い割合を占めた。
産業別にみると、卸売・小売業、サービス業において「総合職として昇進・昇格する」と回答した企業が、全体と比べ高い割合となった。

図4　女性従業員に期待する働き

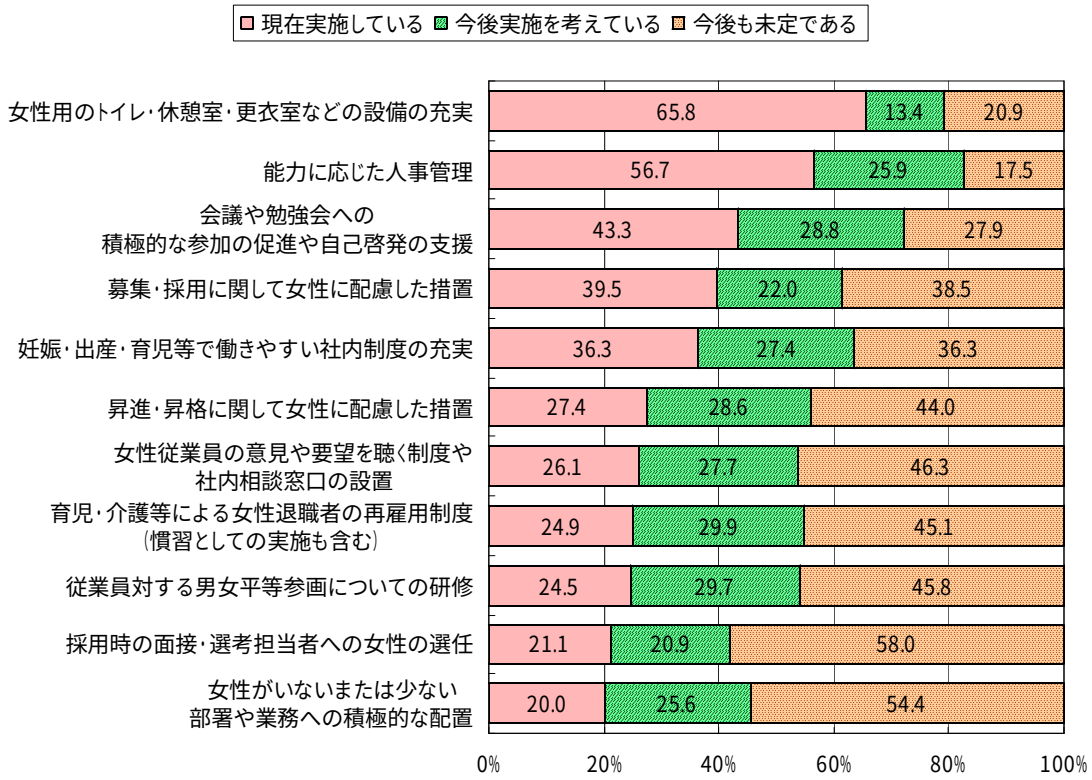


④女性従業員の能力発揮促進のための取組状況について

女性従業員の能力発揮促進のための取組状況について、441社から回答を得た。
全体では、「女性用のトイレ・休憩室・更衣室などの設備の充実」を現在実施していると回答した企業が65.8%、「能力に応じた人事管理」が56.7%と高い割合となった。

また、現在実施していると回答した企業について産業別にみると、製造業において女性の能力発揮促進のための積極的な取組みを行っている企業が多い結果となった。

図5　女性従業員の能力発揮促進のための取組み



（%）

「現在実施している」企業の割合	[全体]	建設業	製造業	卸売・小売業	運輸・通信業	ｻｰﾋﾞｽ業
女性用のトイレ・休憩室・更衣室などの設備の充実	65.8	13.4	18.1	13.4	9.8	11.1
能力に応じた人事管理	56.7	10.0	15.2	12.7	5.9	12.9
会議や勉強会への積極的な参加の促進や自己啓発の支援	43.3	10.2	10.7	8.6	4.3	9.5
募集・採用に関して女性に配慮した措置	39.5	6.1	11.2	9.3	4.3	8.6
妊娠・出産・育児等で働きやすい社内制度の充実	36.3	8.4	9.1	7.9	4.5	6.4
昇進・昇格に関して女性に配慮した措置	27.4	5.0	8.4	5.9	3.8	4.3
女性従業員の意見や要望を聴く制度や社内相談窓口の設置	26.1	4.1	8.2	7.0	2.5	4.3
育児・介護等による女性退職者の再雇用制度（慣習としての実施も含む）	24.9	4.5	6.1	6.4	2.7	5.2
従業員対する男女平等参画についての研修	24.5	4.5	6.0	5.4	3.6	5.0
採用時の面接・選考担当者への女性の選任	21.1	3.6	4.5	5.2	1.8	6.0
女性がいないまたは少ない部署や業務への積極的な配置	20.0	2.3	5.5	6.8	2.0	3.4

4　調査方法

1　調査目的

企業経営者意識調査は、企業経営者に対して、景気の見通しや自社の経営状況などについての意識調査を行い、集計･分析した結果を道政の基礎資料とすることを目的として四半期ごとに実施している。

2　調査時点

平成19年6月30日

3　調査方法

郵送によるアンケート方式

4　調査対象及び回答企業数

区分		調査対象企業数（A）	回答企業数（B）	回答率（B／A・%）
総計		1,000	669	66.9
産業	建設業	170	132	77.6
	製造業	225	155	68.9
	卸売･小売業	250	159	63.6
	運輸・通信業	145	91	62.8
	サービス業	210	132	62.9
資本金	5千万円未満	580	371	64.0
	5千万以上～1億円未満	203	147	72.4
	1億円以上	217	151	69.6
地域	道南	114	84	73.7
	道央	452	299	66.2
	道北	133	88	66.2
	オホーツク	100	70	70.0
	十勝	100	69	69.0
	釧路・根室	101	59	58.4

(注)　地域の定義

道南･････････････渡島、檜山支庁管内
道央･････････････石狩、後志、空知、胆振、日高支庁管内
道北･････････････上川、留萌、宗谷支庁管内
オホーツク･････････網走支庁管内
十勝･････････････十勝支庁管内
釧路･根室･････････釧路、根室支庁管内

5　分析方法

この調査では、企業経営者の業況感などを計測する指標として、ＢＳＩ(Business Survey Index)を使用している。

例えば、自社の経営状況について、ＢＳＩがプラスなら業況は上昇、マイナスなら業況は下降とみる企業経営者数が多いことを示す。

算出式は

BSI＝{(「上昇」とする企業の割合(%)) －(「下降」とする企業の割合(%))}である。

(－100 ≦ BSI ≦ 100)

企業経営者意識調査結果
２００７年第２四半期（４－６月期）調査（第７４回）
平成１９年7月２７日発行

編集・発行　　北海道企画振興部地域振興・計画局地域づくり支援室参事（経済調査）
ＴＥＬ　代表　011-231-4111　内線23-617

「企業経営者意識調査結果」は、経済調査課のホームページでもご覧いただけます。
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/skk/kzc/index.htm